

板倉町行政系施設等長寿命化計画
(個別施設計画)

令和3年3月

板 倉 町

企画財政課 財政係

目 次

第1章 計画の概要	
1. 計画の背景と目的	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画期間	2
4. 対象施設	2
第2章 施設の目指すべき姿	
1. 施設の目指すべき姿	4
第3章 施設の状況	
1. 運営状況等	5
2. 施設の保有状況	6
3. 施設関連経費の推移	7
4. 施設の老朽化状況	9
第4章 施設整備の基本的な方針等	
1. 長寿命化計画の基本方針	19
2. 施設の規模・配置計画等の方針	20
3. 目標使用年数、改修周期の設定	20
4. 長寿命化の方針	21
第5章 施設整備の水準等	
1. 改修等の整備水準	22
2. 維持管理の項目・手法等	23
第6章 長寿命化の実施計画	
1. 改修等の優先順位づけ	24
2. 今後の維持・更新コスト（従来型と長寿命化型）	24
3. 長寿命化の効果	29
4. 実施計画	30
第7章 長寿命化計画の継続的運用方針	
1. 情報基盤の整備と活用	31
2. 推進体制等の整備	31
3. フォローアップ	31
用語の解説	32

[資料編]

- ・劣化状況調査票（調査票・図面・写真）

第1章 計画の概要

1. 計画の背景と目的

本町では、公共施設の多くが昭和57年までに整備され、建築から35年以上経過した施設が全体の約7割を占めています。今後、施設の老朽化に伴う大規模改修や更新費用に係る財政負担の増加が懸念されています。

国では、平成25年11月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、このインフラ長寿命化基本計画に基づき、本町では、保有する公共施設等の全体を把握し、長期的な視点により公共施設等の総合かつ計画的な管理を行うための指針として、平成29年3月に「板倉町公共施設等総合管理計画」を策定しました。

この板倉町公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設ごとの長寿命化等を目指した計画的な維持・更新により、施設整備に係る費用の縮減と平準化を図ることを目的として「板倉町行政系施設等長寿命化計画（個別施設計画）」（以降、「本計画」という。）を策定するものです。

2. 計画の位置づけ

本計画は、「板倉町公共施設等総合管理計画」を上位計画として、個別施設ごとの具体的な方策を定める計画として位置づけるものです。

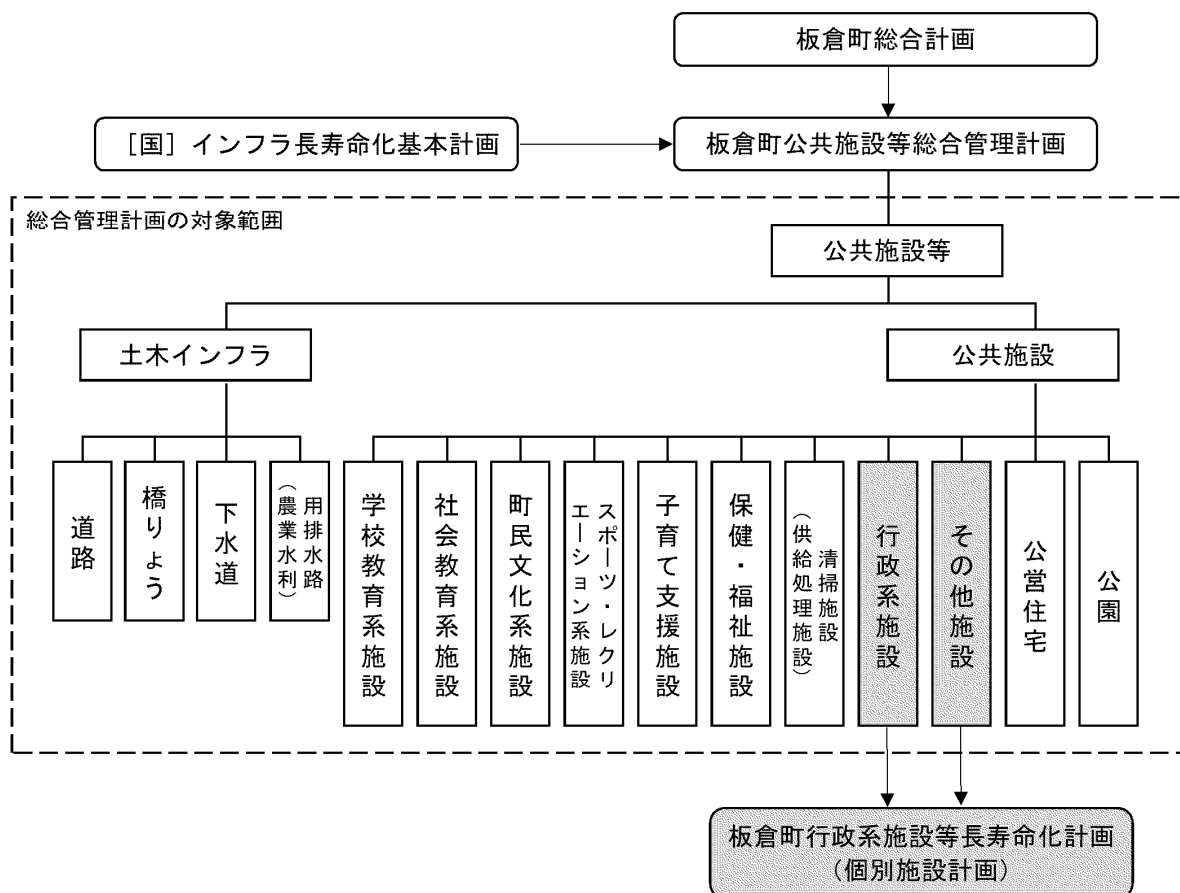


図1-1 計画の位置づけ

3. 計画期間

計画期間は、令和3年度から令和12年度までの10年間とし、施設の維持・更新コストの試算は、長期的な視点が必要になるため40年間として設定します。原則として10年ごとに計画の見直しを行います。施設の劣化状況や社会情勢の変化があった場合等は、随時見直しを行うものとします。

4. 対象施設

(1) 対象施設及び建物一覧

本計画で対象とする施設は、以下の3施設、6棟とします。

延床面積200㎡以下の小規模建物や倉庫、車庫等、施設本体以外の用途で使用している建物は、対象外とします。

なお、旧北小学校及び旧南小学校の校舎については、廃校後は避難所としてのみ利用され、施設の利活用について、現在、検討が進められています。

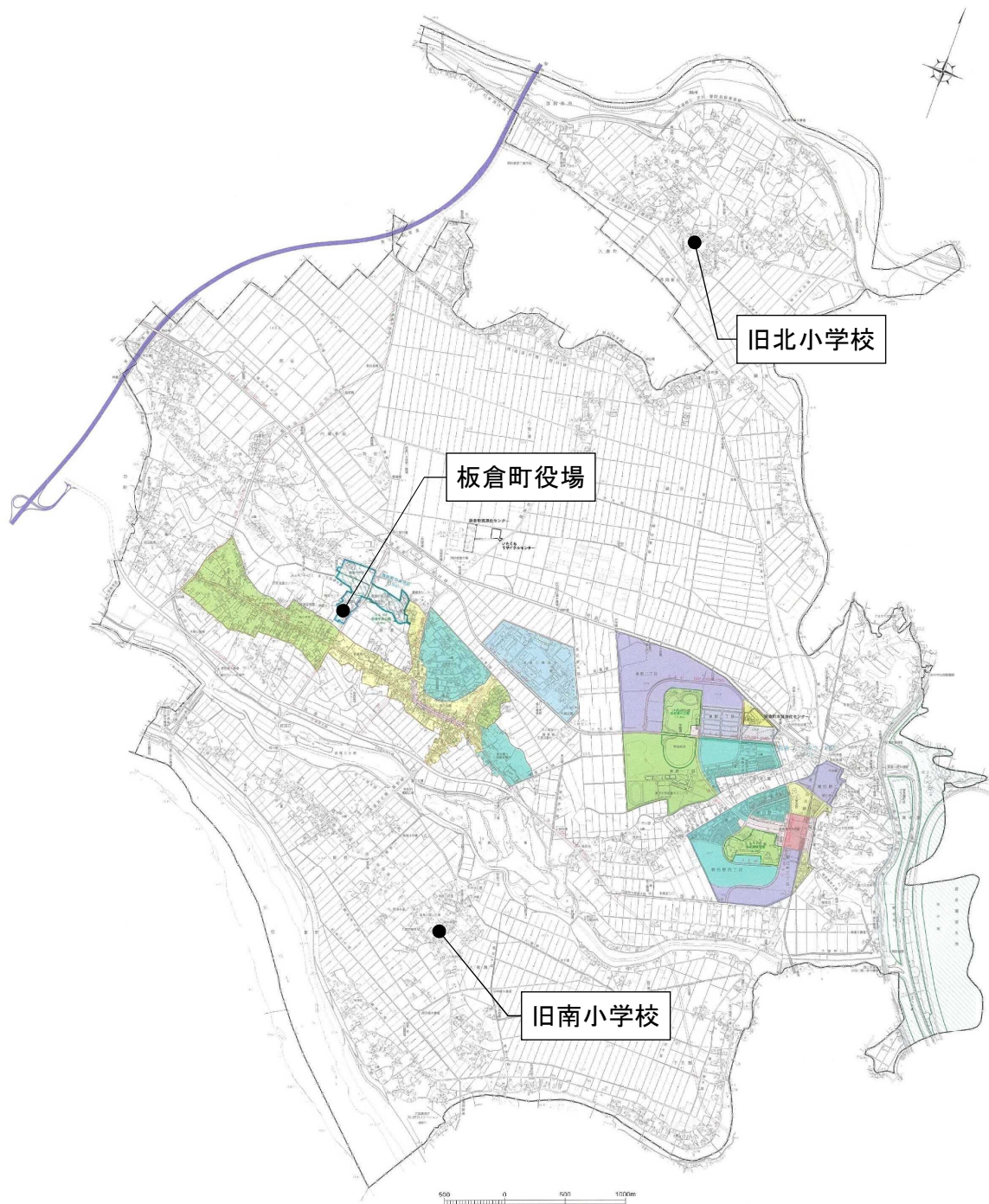
■:築50年以上 □:築30年以上 基準 2020年

建物基本情報														備考
通し番号	調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(㎡)	建築年度		築年数	
						種別	用途				西暦	和暦		
1	—	板倉町役場	庁舎	—	TA0000016	役場	庁舎	RC	3	4,084	2018	H30	2	
2	—	旧北小学校(校舎)	校舎(その他)	022-1	2007	その他	その他	RC	3	3,410	1982	S57	38	R2.3.31廃校
3	—	旧北小学校(校舎)	給食室1(その他)	022-2	2012	その他	その他	RC	1	100	1982	S57	38	R2.3.31廃校
4	—	旧北小学校(校舎)	給食室2(その他)	022-3	2013	その他	その他	S	1	22	2002	H14	18	R2.3.31廃校
5	—	旧南小学校(校舎)	校舎(その他)	016-1	2032	その他	その他	RC	3	2,876	1982	S57	38	S57.3建設 R2.3.31廃校
6	—	旧南小学校(校舎)	給食室(その他)	016-2	2038	その他	その他	RC	1	116	1982	S57	38	S57.3建設 R2.3.31廃校
合計		3施設	6棟							10,608				

※旧南小学校は昭和57年3月建設の新耐震基準で建設のため、建築年度を1982年(昭和57年)としています。

表1-1 対象施設及び建物一覧

(2) 施設の配置状況



(使用：「平成30年1月25日板倉町都市計画図」)

図1-2 施設配置

第2章 施設の目指すべき姿

1. 施設の目指すべき姿

(1) 安全性

施設の劣化状況を的確に把握し、計画的に修繕を行うことで事故を未然に防ぎ、安全で安心な施設を目指します。

(2) 快適性

バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れ、誰もが利用しやすい施設を目指します。また、改修の際には、部材の高断熱化や設備の省エネルギー等、環境に配慮した施設を目指します。

(3) 適応性

情報技術の進歩に合わせたICT環境の整備等、高度情報化社会に対応した施設を目指します。また、人口構成の変化や住民ニーズの変化に対応し、施設の集約や複合化等、施設の有効利用を図るとともに、地域の拠点として多様な活用が可能な施設を目指します。

第3章 施設の状況

1. 運営状況等

ここでは過去5年間の庁舎勤務の正規職員・会計年度任用職員数を示します。旧北小学校及び旧南小学校は、現在、使用していないため、運営状況等の整理対象外とします。

平成30年度から正規職員数が増加していますが、平成31年2月に新庁舎へ移転したことともない、出先機関に配置されていた部署を庁舎内へ配置したことにより、正規職員数が増加しています。

NO.	施設名	分類	人数(人)				
			H27	H28	H29	H30	R1
1	板倉町役場	正規職員	93	96	96	105	104
		会計年度任用職員	21	18	21	19	22
合計			114	114	117	124	126

表3-1 庁舎勤務人数の推移

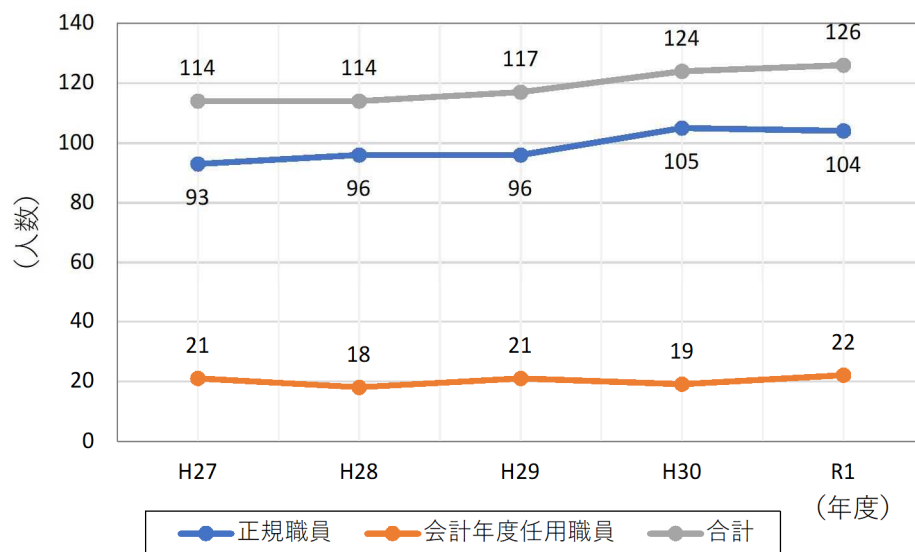


図3-1 庁舎勤務人数の推移

2. 施設の保有状況

対象施設の延床面積を建築年度別にみると、築30年以上の建物が61%を占めています。これには旧北小学校及び旧南小学校が該当し、老朽化が進んでいますが、どちらも新耐震基準で建てられ、耐震性は確保されています。

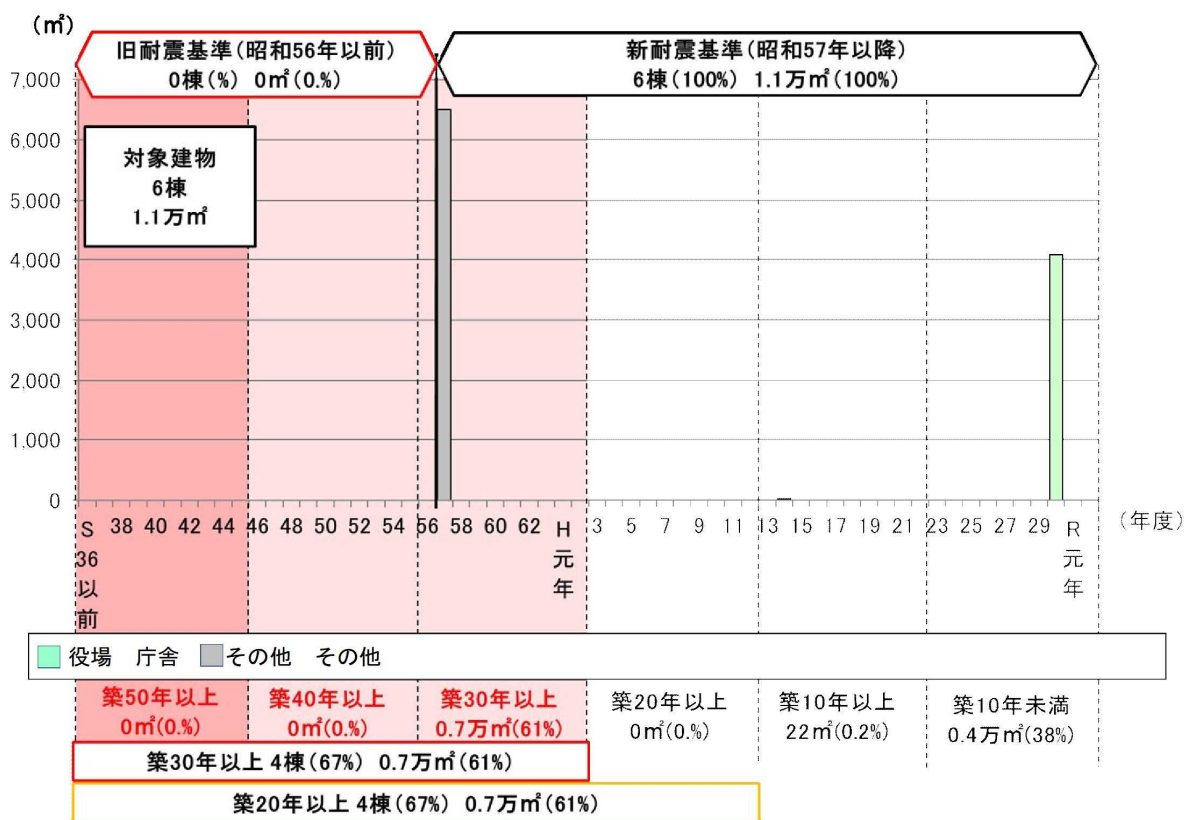


図3-2 築年度別整備状況

3. 施設関連経費の推移

過去5年間の施設関連経費は、合計で約20億円、年間平均は約4.0億円となります。平成28年度から平成30年度にかけて、板倉町役場の新庁舎を建設したことにより施設整備費及びその他施設整備費が大きくなっています。なお、過去5年間の期間は、旧庁舎から新庁舎への建設期間を含むため、旧庁舎に係る経費も計上しています。

(単位：円)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	合 計	5年間の平均
施設整備費	2,651,400	656,386,000	245,975,010	749,754,306	0	1,654,766,716	330,953,343
板倉町役場	0	655,954,000	244,020,400	749,754,306	0	1,649,728,706	329,945,741
(板倉町役場(旧庁舎))	0	0	34,560	0	0	34,560	6,912
旧北小学校(校舎)	756,000	432,000	0	0	0	1,188,000	237,600
旧南小学校(校舎)	1,895,400	0	1,920,050	0	0	3,815,450	763,090
その他施設整備費	0	35,760,200	107,068,400	104,152,280	0	246,980,880	49,396,176
板倉町役場	0	35,420,000	107,068,400	104,008,640	0	246,497,040	49,299,408
(旧板倉町役場)	0	0	0	0	0	0	0
旧北小学校(校舎)	0	0	0	0	0	0	0
旧南小学校(校舎)	0	340,200	0	143,640	0	483,840	96,768
維持修繕費	2,157,989	1,741,807	1,882,371	1,566,358	541,087	7,889,612	1,577,922
板倉町役場	0	71,280	0	45,846	0	117,126	23,425
(板倉町役場(旧庁舎))	561,551	264,859	144,720	47,520	0	1,018,650	203,730
旧北小学校(校舎)	852,328	733,836	748,832	914,956	236,697	3,486,649	697,330
旧南小学校(校舎)	744,110	671,832	988,819	558,036	304,390	3,267,187	653,437
光熱水費・委託費	19,326,985	17,824,793	19,615,047	24,278,412	24,867,057	105,912,294	21,182,459
光熱水費	12,101,477	10,827,280	12,271,215	14,141,269	13,809,758	63,150,999	12,630,200
板倉町役場	0	0	0	5,640,332	7,178,056	12,818,388	2,563,678
(板倉町役場(旧庁舎))	5,371,321	4,778,254	5,416,741	1,952,800	303,790	17,822,906	3,564,581
旧北小学校(校舎)	3,110,149	2,776,886	3,294,166	3,221,091	3,262,311	15,664,603	3,132,921
旧南小学校(校舎)	3,620,007	3,272,140	3,560,308	3,327,046	3,065,601	16,845,102	3,369,020
委託費	7,225,508	6,997,513	7,343,832	10,137,143	11,057,299	42,761,295	8,552,259
板倉町役場	0	0	0	1,781,455	6,284,276	8,065,731	1,613,146
(板倉町役場(旧庁舎))	2,601,840	2,364,240	1,974,395	4,896,926	53,460	11,890,861	2,378,172
旧北小学校(校舎)	2,980,249	2,027,628	3,486,653	1,687,540	2,451,894	12,633,964	2,526,793
旧南小学校(校舎)	1,643,419	2,605,645	1,882,784	1,771,222	2,267,669	10,170,739	2,034,148
合 計	24,136,374	711,712,800	374,540,828	879,751,356	25,408,144	2,015,549,502	403,109,900

表3-2(1) 施設関連経費の推移(参考)

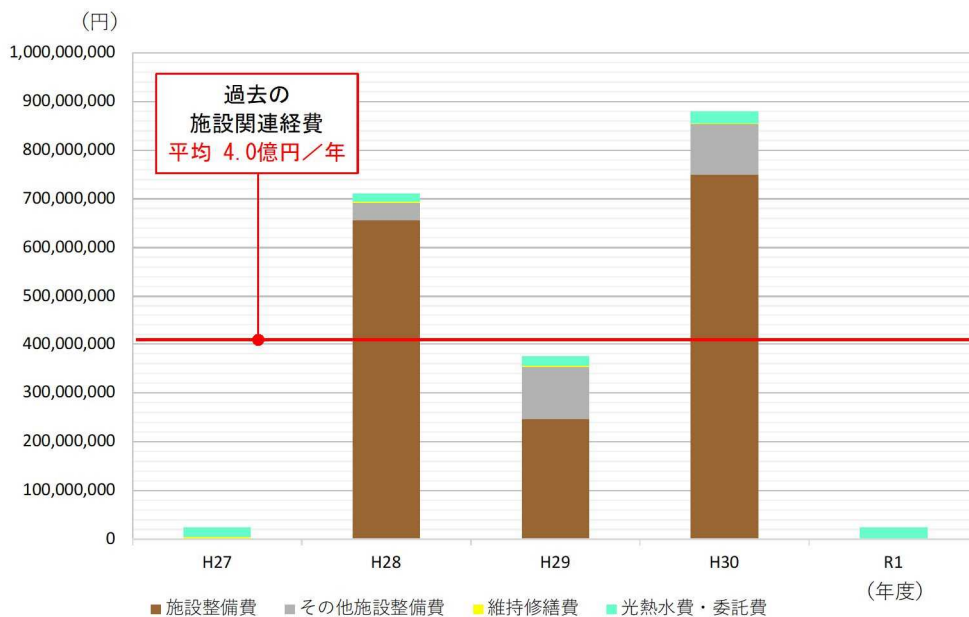


図3-3(1) 施設関連経費の推移(参考)

ここで、庁舎建設費を含めた施設関連経費にて、今後40年間の維持・更新コストの試算をすると経費が過大となり適当ではないため、板倉町役場の施設整備費及びその他施設整備費は、一般財源にて支出した費用のみを計上し、施設関連経費を再計算します。

これにより、過去5年間の施設関連経費は、合計で約5.6億円、年間平均は約1.1億円となります。

※庁舎建設費の財源内訳（国庫支出金 約1%、庁舎建設基金 約48%、町債 約28%、一般財源 約23%）

(単位:円)

年 度	H27	H28	H29	H30	R1	合 計	5年間の平均
施設整備費	2,651,400	151,301,420	58,079,302	172,443,490	0	384,475,612	76,895,122
板倉町役場	0	150,869,420	56,124,692	172,443,490	0	379,437,602	75,887,520
(板倉町役場(旧庁舎))	0	0	34,560	0	0	34,560	6,912
旧北小学校(校舎)	756,000	432,000	0	0	0	1,188,000	237,600
旧南小学校(校舎)	1,895,400	0	1,920,050	0	0	3,815,450	763,090
その他施設整備費	0	8,486,800	24,625,732	24,065,627	0	57,178,159	11,435,632
板倉町役場	0	8,146,600	24,625,732	23,921,987	0	56,694,319	11,338,864
(旧板倉町役場)	0	0	0	0	0	0	0
旧北小学校(校舎)	0	0	0	0	0	0	0
旧南小学校(校舎)	0	340,200	0	143,640	0	483,840	96,768
維持修繕費	2,157,989	1,741,807	1,882,371	1,566,358	541,087	7,889,612	1,577,922
板倉町役場	0	71,280	0	45,846	0	117,126	23,425
(板倉町役場(旧庁舎))	561,551	264,859	144,720	47,520	0	1,018,650	203,730
旧北小学校(校舎)	852,328	733,836	748,832	914,956	236,697	3,486,649	697,330
旧南小学校(校舎)	744,110	671,832	988,819	558,036	304,390	3,267,187	653,437
光熱水費・委託費	19,326,985	17,824,793	19,615,047	24,278,412	24,867,057	105,912,294	21,182,459
光熱水費	12,101,477	10,827,280	12,271,215	14,141,269	13,809,758	63,150,999	12,630,200
板倉町役場	0	0	0	5,640,332	7,178,056	12,818,388	2,563,678
(板倉町役場(旧庁舎))	5,371,321	4,778,254	5,416,741	1,952,800	303,790	17,822,906	3,564,581
旧北小学校(校舎)	3,110,149	2,776,886	3,294,166	3,221,091	3,262,311	15,664,603	3,132,921
旧南小学校(校舎)	3,620,007	3,272,140	3,560,308	3,327,046	3,065,601	16,845,102	3,369,020
委託費	7,225,508	6,997,513	7,343,832	10,137,143	11,057,299	42,761,295	8,552,259
板倉町役場	0	0	0	1,781,455	6,284,276	8,065,731	1,613,146
(板倉町役場(旧庁舎))	2,601,840	2,364,240	1,974,395	4,896,926	53,460	11,890,861	2,378,172
旧北小学校(校舎)	2,980,249	2,027,628	3,486,653	1,687,540	2,451,894	12,633,964	2,526,793
旧南小学校(校舎)	1,643,419	2,605,645	1,882,784	1,771,222	2,267,669	10,170,739	2,034,148
合 計	24,136,374	179,354,820	104,202,452	222,353,888	25,408,144	555,455,678	111,091,136

表3-2(2) 施設関連経費の推移 <採用>

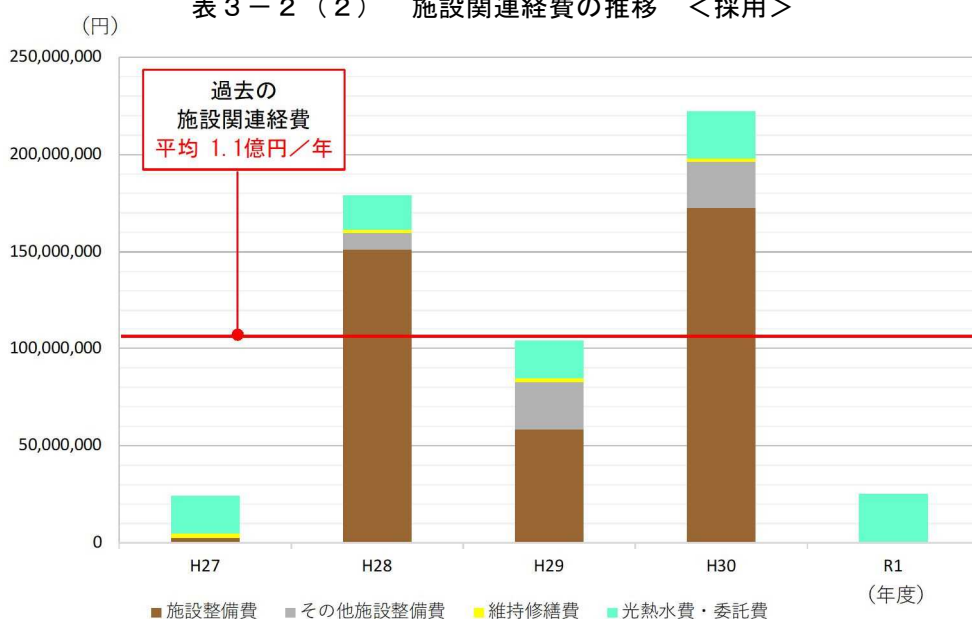


図3-3(2) 施設関連経費の推移 <採用>

4. 施設の老朽化状況

施設の老朽化状況の把握にあたっては、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」に基づき、調査及び点検、評価を行います。

(1) 構造躯体の健全性の把握

以下の方法により、耐震性の状況を整理し、今後の維持・更新コストの試算において、改築（建替え）をするか長寿命化をするかを判定します。

調査2 構造躯体の健全性の把握

調査2では、今後の維持・更新コストの試算における「改築」と「長寿命」（長寿命化改修）の区分を明らかにするため、すでに実施されている耐震診断報告書等を基に、長寿命化改修に適さない可能性のある建物を簡易に選別する。工事実施段階においては、耐力度調査に準じた躯体の詳細な調査を行い、さらに経済性や教育機能上などの観点を加え、各教育委員会が個別建物ごとに長寿命化改修の可否を判断する必要がある。

従来のように築50年未満で建替えるのではなく、80年程度の長期間にわたって建物を使用するためには、構造躯体が健全でなければ必要な安全性が確保できない。このため、長寿命化改修に適さない可能性がある建物については、今後の維持・更新コストを試算する上では「改築」と区分して算定する。

計画策定段階の判定

- 旧耐震基準の鉄筋コンクリート造の建物については、耐震診断報告書に基づき、コンクリート圧縮強度が13.5N/mm²以下のもの、及び圧縮強度が不明のものは「要調査」建物とし、試算上は「改築」とする。
- 旧耐震基準の鉄骨造、木造等の建物については、現地調査結果を基に判断し、概ね建築後40年以上で腐食や劣化の著しいものは「要調査」建物とし、試算上は「改築」とする。
- 上記以外は、試算上の区分を「長寿命」とする。

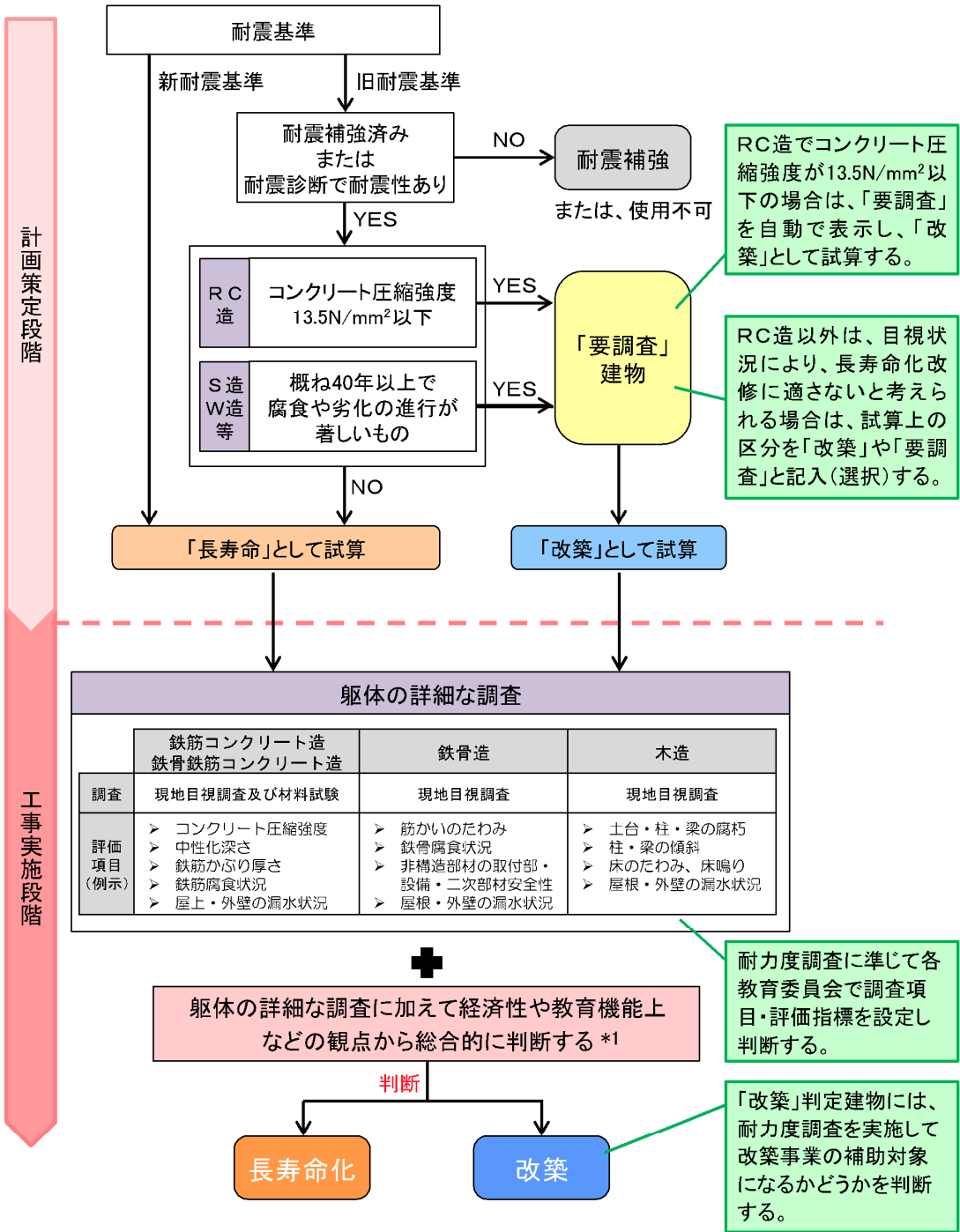
調査2では、この範囲を記入する。

建物情報一覧表

建物基本情報													構造躯体の健全性						
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分

(出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」P20)

長寿命化の判定フロー



*1 例えば、時を重ねて活用され続けた木造建物等は、それ自体が文化財的価値を有することも多く、改築に際しては、こうした観点からの検討も別途行う必要がある。

(出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」P21)

《記入の仕方》

旧耐震基準の学校施設の多くは耐震診断を行い、補強が必要な場合は耐震補強を実施している。耐震診断の時にはコンクリート圧縮強度等の材料試験を行っているため、計画策定段階において長寿命化に適する建物かどうかを簡易に選別するために、これらの既存データを用いることが考えられる。

各入力欄の記入の仕方を以下に示す。

【耐震安全性の欄】

基準：旧耐震基準の場合は「旧」、新耐震基準の場合は「新」

診断：診断実施済みの場合は「済」、それ以外は「-」

補強：耐震補強工事済みの場合は「済」、それ以外は「-」

【長寿命化判定の欄】

調査年度：耐震診断等を実施した年度を記入する。

圧縮強度（単位：N/mm²）：標準偏差を考慮するなどして設定された耐震診断に採用されたコンクリート圧縮強度を記入する。階ごとに異なるなど、複数の診断強度がある場合はそれらの最低値を記入する。

試算上の区分：基準の欄が「旧」で、構造の欄が「RC」または「SRC」で、圧縮強度の欄が「13.5」以下の場合に、試算上の区分を自動で「要調査」と表示する。それら以外の場合は、任意で「長寿命」「要調査」「改築」の中から記入（選択）する。

建物情報一覧表

建物基本情報													構造躯体の健全性						
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分
001	1301	A小学校	校舎1	1	2203001157	小学校	校舎	RC	3	2,562	1969	S44	46	旧	済	済	H10	24.9	長寿命
002	1301	A小学校	校舎2	5	2203001158	小学校	校舎	RC	3	1,525	1969	S44	46	旧	済	済	H10	26.2	長寿命
003	1301	A小学校	校舎3	18-1.2	2203001159	小学校	校舎	RC	4	1,179	2002	H14	13	新	-	-	-	-	長寿命
004	1301	A小学校	体育館	19-1.2.3	2203001160	小学校	体育館	RC	4	1,408	1970	S45	45	旧	済	済	H10	25.3	長寿命
005	1302	B小学校	校舎1	2-1	2204001161	小学校	校舎	RC	3	1,819	1964	S39	51	旧	済	済	H7	13.1	要調査
006	1302	B小学校	校舎2	2-2	2204001162	小学校	校舎	RC	3	1,744	1970	S45	45	旧	済	済	H7	27.4	長寿命
007	1302	B小学校	校舎3	17	2204001163	小学校	校舎	RC	3	911	1980	S55	35	旧	済	-	H7	25.8	長寿命
008	1302	B小学校	体育館	7	2204001164	小学校	体育館	S	2	668	1972	S47	43	旧	済	-	-	-	長寿命

重要:

旧耐震基準のRC造またはSRC造で、圧縮強度が13.5N/mm²以下の場合、試算上の区分を自動で「要調査」と表示する。「要調査」の建物は「今後の維持・更新コスト」では「改築」として試算される。上記以外の場合は、任意で「改築」「要調査」「長寿命」の中から記入（選択）する。空欄のままとした建物は「改築」として試算される。

(出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」P22)

(2) 躯体以外の劣化状況の把握

以下の方法により、5つの部位（屋根・屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備）について、点検及び評価を行い、健全度を算定します。

《建築基準法第12条に基づく定期の報告、検査等(12条点検)》

建築基準法では、建築物を適切に維持管理し安全を確保するため、建築物の所有者又は管理者に対し、損傷や腐食等の劣化状況について、定期に、一級建築士等による調査・点検を実施させなければならないとしている（建築基準法第12条）。対象施設・設備、及び調査・点検の項目・方法・判定基準は、国土交通省告示において定められている。

点検周期	点検部位	点検項目		
3年以内 ごと	建築物(敷地・構造)	敷地及び地盤 地盤 敷地 塀 擁壁等	<div style="border: 1px solid red; padding: 2px;"> □ で囲む項目は、劣化状況調査票と連動する項目を示す。 劣化状況調査票の項目 □ で囲む項目以外についても、指摘があれば特記事項に記入する。 </div>	
		建築物の外部 基礎 土台(木造に限る) 外壁(躯体等、外装仕上げ材等、窓サッシ等、広告板等)		→ 2 外壁
		屋上及び屋根 屋上面 屋上周り 屋根 機器及び工作物		→ 1 屋根・屋上
		建築物の内部 防火区画 壁の室内に面する部分(躯体等、防火区画を構成する壁) 床(躯体等、防火区画を構成する床) 天井 照明器具・懸垂物等 石綿等を添加した建築材料		→ 3 内部仕上げ
		避難施設等 避難上有効なバルコニー 階段 排煙設備等 非常用の照明装置		
		その他 特殊な構造(膜構造建築物の膜体・取付け部材等、免震構造建築物の免震層・免震装置) 避雷設備 煙突		
		1年以内 ごと		建築設備(昇降機を除く)
防火設備 防火戸 防火シャッター等駆動装置との連動	→ 2 外壁 → 3 内部仕上げ			
換気設備 (居室等の)機械換気設備 (調理室等の)自然換気設備及び機械換気設備 (居室等の)防火ダンパー等	→ 5 機械設備			
排煙設備 排煙機 その他(機械排煙設備の排煙口・排煙風道、防火ダンパー、特殊な構造の排煙設備の排煙口及び給気口・給気風道・給気送風機) 特殊避難階段の付室及び非常用エレベーターの乗降ロビーに設ける排煙口及び給気口 可動防煙壁 自家発電装置 エンジン直結の排煙機				
非常用の照明装置 電池内蔵形の蓄電池 電源別置形の蓄電池 自家発電装置	→ 4 電気設備			
給水設備及び排水設備 飲料用の配管及び排水配管 飲料用の給水タンク及び貯水タンク並びに給水ポンプ 排水槽 給湯設備 排水再利用配管設備 その他(衛生器具、排水管)	→ 5 機械設備			

(出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」P25)

《記入の仕方》

屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。p.28～33で評価基準を写真事例を用いて詳細に解説する。なお、寒冷地における写真事例等を加えるなど、必要に応じて地域の状況に応じた評価基準を作成することが望ましい。

評価基準

目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある(安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

経過年数による評価【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定している。

①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	→	評価点	×	配分	=	
1 屋根・屋上	C	→	40	×	5.1	=	204
2 外壁	D	→	10	×	17.2	=	172
3 内部仕上げ	B	→	75	×	22.4	=	1,680
4 電気設備	A	→	100	×	8.0	=	800
5 機械設備	C	→	40	×	7.3	=	292
計							3,148
							÷ 60
健全度							52

(出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」P26)

評価基準：屋根・屋上

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好

仕様	評価	A	B	C	D
アスファルト 保護防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				
アスファルト 露出防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				
シート 防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				
塗膜防水	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				
金属板 (瓦尺、 折板、 平葺き)	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)				

《解説》

- 《点検項目》
- ✓ 最上階の天井において、降雨時やその翌日の雨漏りがないか。または、雨漏りが原因と見られるシミやカビがないか。
 - ✓ 防水面において、腐れ・剥がれ・破れ・穴開きなどがないか。
 - ✓ 金属屋根においては、錆・損傷・腐食などがないか。
 - ✓ 上記のような劣化事象の箇所数を記入。
- 《点検の留意点》
- ✓ ルーフドレイン（屋上排水口）や排水溝は、緩い勾配がつけられている屋上で、最も低い部分で、土砂などが溜まりやすくなっており、ここが詰まると屋上に水溜りができてしまし、劣化が進み、漏水が発生する恐れがある。
 - ✓ 目視だけでなく歩行により、浮きや水ぶくれ等がないか確認する。
 - ✓ パラペット立上り部分の防水部で、剥がれ等が無いが確認する。
 - ✓ 屋内運動場の屋根は、容易に登れない場合は隣接する校舎の屋上等から観察する。
 - ✓ 1箇所劣化事象だけでなく、全体の経年状況等を踏まえる。
 - ✓ 現状のまま放置すると、他の場所でも同じように劣化が進行する可能性がある場合は評価を1段階引き下げる。
 - ✓ 現状として、降雨時に複数箇所雨漏りを雨漏り痕で行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。ただし、屋上防水上をD評価とする。ただし、屋上防水は改修済みでも、天井ボードは既存のままとなっている学校が多く、早極める必要がある。

(出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」P28-29)

評価基準：外壁

目視状況を写真事例に照らしてA、B、C、Dの4段階で評価する。 良好

劣化

仕様	評価	A	B	C	D
塗り仕上げ	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		 部分的に、ひび割れ、変質・浮き・さび汁がある。	 広範囲に、ひび割れ・亀甲状のひび割れ・変質・浮き・剥がれ、さび汁があり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
タイル張り 石張り	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		 部分的に、ひび割れ、変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ・変質・浮き・はらみ・さび汁・シーリング材のひびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、剥落・爆裂・幅広のひび割れがあり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
金属系 ハネル	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		 部分的に、さび・変質・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、さび・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 広範囲に、さび・腐食・ぐらつき・取付金物の腐食があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
セメント系 ハネル	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		 部分的に、ひび割れ、変質・欠損・シーリング材のひびがある。	 広範囲に、ひび割れ・変質・シーリング材のひび・取付金物のさびがあり、小規模な漏水がある。	 欠落・ぐらつき・取付金物の腐食・シーリング材の欠落があり、内部の床に水たまり、漏水が複数箇所ある。
窓 (サッシ)	良好 (汚れている程度) (改修後10年以内)		 部分的に、変形・変質・シーリング材の硬化。	 全体的に、変形・変質・さび・シーリングの硬化・ひび割れが見られる。	 全体的に腐食・損壊・開閉不良があり、漏水がある。

《解説》

《点検項目》

- ✓ 外壁において、コンクリートが剥落し、鉄筋が露出している箇所はないか。
- ✓ 外壁の室内側において、雨漏りと思われるシミ垂れや塗装の剥がれがないか。
- ✓ また、降雨時や翌日に床面に水溜りができてないか。
- ✓ 外装材（モルタル・タイル・吹き付け材などの仕上げ材）の亀裂、浮き、剥離、ひび割れ及び破損などがないか。
- ✓ 建具枠、扉扉などの腐食、変形、ぐらつきなどがないか。
- ✓ 窓枠と外壁との隙間に施されているシーリング材に硬化、切れ、剥れなどがないか。
- ✓ 上記のような劣化事象の箇所数を記入。

《点検の留意点》

- ✓ 目視によって外壁の状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
- ✓ 外壁のタイル、モルタルなどに剥落やふくれ、浮きを発見した場合は、直ちに、周囲に立ち入りできないよう措置を行う。また、部分的に打診による浮きの確認をすることが望ましい。
- ✓ スチールサッシは、錆の影響による開閉不良・鍵の破損等について確認する必要がある。
- ✓ 現状として降雨時に複数箇所雨漏りしている場合をD評価とする。判断を雨漏りで行う場合は概ね10箇所以上をD評価とする。
- ✓ 鉄筋の露出は、概ね5箇所以上をD評価とする。

(出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」P30-31)

評価基準：内部仕上、電気設備、機械設備

部位の全面的な改修年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。

《解説》

内部仕上と設備は修繕・改修や点検の履歴を基に、経過年数により4段階で評価することを基本とする。ただし、現地目視により、右頁にあるような事象があれば、それらも加味して総合的に評価すること。



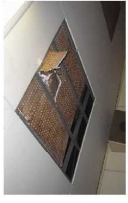
対象となる部位、及びC/D評価に該当する事象例を右表に示す。

《点検項目》

- ✓ 内部においては、床・壁・天井のコンクリートの亀裂やボンド類の浮きや損傷などがないか。
- ✓ 天井ボードの落下や床シートの剥がれなどにより安全性が損なわれているところがないか。
- ✓ 設備機器においては、機器や架台に錆・損傷・腐食などがないか。
- ✓ 設備機器に漏水・漏油などがないか。
- ✓ 給水設備においては、使用水に赤水や異臭がないか。
- ✓ 機器から異音はしていないか。
- ✓ 保守点検や消防の査察などで是正措置等の指摘がないか。

《点検の留意点》

- ✓ 目視によって状況を確認する。大きな損傷、変形、腐食などがないかを確認する。
- ✓ 受電設備等の高圧機器は、フェンスの外から目視により確認する。
- ✓ 施設管理者からのヒアリングも有効。
- ✓ 目視で評価する場合、複数あるうち、1台の機器の劣化事象だけで判断するのではなく、設備全体として評価する。

	該当する部位	CまたはDの事象(例)
内部仕上	<ul style="list-style-type: none"> ● 床、壁、天井 ● 内部開口部(扉、窓、防火戸) ● 室内表示、手すり、固定家具など ● 照明器具、衛生器具、冷暖房器具 	<ul style="list-style-type: none"> ● 内部仕上と設備機器について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・特定の教室のみの改修 ・天井張替え、壁の塗り替え、照明器具交換など、部位、機器のみの改修工事 ● 広範囲(25%以上の面積)または箇所(5か所以上)に劣化事象がみられる場合は、評価を1段階下げることが目安とする。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p>床仕上げの剥がれ 床のひび割れ 天井材の落下、剥がれ</p>
電気設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・受電設備の更新 ・防災設備、放送設備など、単独設備の更新 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>受電設備、自家発電設備、幹線設備は、学校施設の共用設備のため対象外とする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物内の分電盤・配線・配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・視覚室やコンピュータ室などの改修(整備)はしているが、他の部分は40年以上経過している場合は、C評価
機械設備	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管・ガス配管 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>受水槽、高置水槽、浄化槽、各種ポンプ、屋外配管は、共用設備のため対象外とする。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ● 建物内の給水配管・給湯配管・排水配管について、該当建物の概ね半分以上の部屋(床面積)にわたって行った改修工事の実施年数を基準とし、経過年数で評価する。 (対象外の工事の例) <ul style="list-style-type: none"> ・部分的な修繕等 ● 給水配管の更新済みで、排水配管は40年以上経過している場合は、C評価 ● 給排水配管を一度も更新せず、40年以上経過している場合は、D評価

以下の様式に、点検及び評価結果を記録します。劣化状況は、状態と場所が分かるよう写真撮影及び位置を図面にプロットし整理します。

なお、建物ごとの劣化状況調査票は、資料編にまとめます。

<様式：劣化状況調査票>

劣化状況調査票						
通し番号	1	調査年度	100	調査日	令和〇年〇月〇日	
施設名	〇〇施設	調査年度	100	調査者	△△ △△	
建物名	△△建物	調査年度	100	記入者	△△ △△	
棟番号	—	建築年度	令和〇年度 (〇〇年度)	階数	地上 3 階 地下 階	
構造種別	RC	延床面積	4,084 m ²			
部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事年度 (部位の変更) 年度 工事内容	劣化状況 (観察内容)	箇所数	特記事項	評価
1 屋根	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根 (鉄・瓦・銅板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ()		<input type="checkbox"/> 降雨時に滲漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に滲漏り痕がある <input checked="" type="checkbox"/> 防水層に割れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根素材に剥離・損傷がある <input type="checkbox"/> 瓦木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 種や材質に目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	3	・自地に割れあり	B
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗料上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 () <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input checked="" type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス		<input type="checkbox"/> 腐蝕が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が割れている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに結露・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐食 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある	2	・塗装の剥がれあり	B
部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及点検等による指摘事項)	評価		
3 内部仕上 (床・天井) (内部建具) (間仕切り等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 劣化改修 <input type="checkbox"/> エコ改修 <input type="checkbox"/> トイレ改修 <input type="checkbox"/> 法令適合 <input type="checkbox"/> 建物内LAN <input type="checkbox"/> 空調設置 <input type="checkbox"/> 防犯対策 <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事		・空調機の漏水あり (1箇所)	D		
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修 <input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事 <input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検 <input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			A		
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修 <input type="checkbox"/> 排水配管改修 <input type="checkbox"/> 消防設備の点検 <input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			A		
特記事項 (改修工事内容や点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば該当部位と指摘内容を記載。外壁部に劣化あれば状況を記載。)						
駐車場舗装に穴あり (1箇所)						
健全度 57 / 100点						

<様式：劣化状況調査票 (写真)>

劣化状況調査票 (写真)					
通し番号	1	棟番号	—	調査年度	100
調査日	令和〇年〇月〇日	調査者	△△ △△	記入者	△△ △△
施設名	〇〇施設	調査年度	100	階数	地上 3 階 地下 階
建物名	△△建物	調査年度	100	調査者	△△ △△
棟番号	—	建築年度	令和〇年度 (〇〇年度)	階数	地上 3 階 地下 階
構造種別	RC	延床面積	4,084 m ²		
写真番号	1	部位	屋根上	評価	B
劣化状況 (劣化状況等を記入)					
・防水層の自地に損傷がある。3箇所					
写真番号	2	部位	外壁	評価	B
劣化状況 (劣化状況等を記入)					
・躯体クラックによる塗装の一部剥がれがある。2箇所					
写真番号	3	部位	空調機 (1階地下)	評価	D
劣化状況 (劣化状況等を記入)					
・空調機の吹き出し口 (南側) から漏水がある。1箇所					

<様式：劣化状況調査票 (図面)>

劣化状況調査票 (図面)					
通し番号	1	棟番号	—	調査年度	100
調査日	令和〇年〇月〇日	調査者	△△ △△	記入者	△△ △△
施設名	〇〇施設	調査年度	100	階数	地上 3 階 地下 階
建物名	△△建物	調査年度	100	調査者	△△ △△
棟番号	—	建築年度	令和〇年度 (〇〇年度)	階数	地上 3 階 地下 階
構造種別	RC	延床面積	4,084 m ²		
図面					
写真番号	1	部位	空調機 (1階地下)	評価	D
劣化状況 (劣化状況等を記入)					
・空調機の吹き出し口 (南側) から漏水がある。1箇所					

(3) 構造躯体の健全性と躯体以外の劣化状況の評価結果

対象施設は、全て新耐震基準を満たしており、長寿命化を図り、長期間使用する建物として今後の維持・更新コストを試算します。

また、劣化状況については、旧北小学校及び旧南小学校の外壁部に経年劣化による損傷が見られます。

通し 番号	施設名	建物名	建物基本情報					構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考			
			構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年 数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 屋上	外壁	内部 仕上	電気 設備		機械 設備	健全度 (100点 満点)	
						西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮 強度 (N/㎡)								試算上 の区分
1	板倉町役場	庁舎	RC	3	4,084	2018	H30	2	新	-	-	-	30	長寿命	A	A	A	A	A	100	
2	旧北小学校(校舎)	校舎(その他)	RC	3	3,410	1982	S57	38	新	-	-	-		長寿命	B	C	B	B	B	65	R2.3.31廃校
3	旧北小学校(校舎)	給食室1(その他)	RC	1	100	1982	S57	38	新	-	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	R2.3.31廃校
4	旧北小学校(校舎)	給食室2(その他)	S	1	22	2002	H14	18	新	-	-	-		長寿命	B	B	A	A	A	91	R2.3.31廃校
5	旧南小学校(校舎)	校舎(その他)	RC	3	2,876	1982	S57	38	新	-	-	-		長寿命	B	C	B	B	B	65	S57.3建設 R2.3.31廃校
6	旧南小学校(校舎)	給食室(その他)	RC	1	116	1982	S57	38	新	-	-	-		長寿命	B	B	B	B	B	75	S57.3建設 R2.3.31廃校

表 3 - 3 劣化状況の評価結果一覧

第4章 施設整備の基本的な方針等

1. 長寿命化計画の基本方針

「板倉町公共施設等総合管理計画」の基本方針を踏まえ、本計画における基本方針を以下のとおり定めます。

第4章 公共施設等総合管理計画の基本方針

.....

①総資産量の適正化

公共施設は、その施設のあり方や必要性について、町民ニーズや政策適合性、費用対効果などの観点から総合的に評価します。廃止、集約化、複合化を行うことで適正な施設保有量を実現します。土木インフラは、費用対効果や経済波及効果を考慮し、新設・改修・更新を実施します。

②長寿命化の推進

今後も活用していく公共施設や土木インフラについては、定期的な点検・診断を実施し、計画的な維持修繕を徹底して長寿命化を推進します。長期にわたる安心・安全なサービス提供に努めるとともに、ライフサイクルコストの縮減による財政負担の軽減と平準化を図ります。

③施設の転用と除却

集約化等により不要になった施設については、ほかの老朽化した施設や新たな住民ニーズへ対応する機能を提供する施設として転用を検討します。また、老朽化により安全の確保が困難な施設については、速やかに除却し跡地の新たな活用方法を検討します。

④公民連携による民間活力の導入

民間企業等の持つノウハウや資金を積極的に活用し、整備や管理における官民の役割分担の適正化により財政負担の軽減とサービス水準の向上を図るべく、公民連携の可能性について検討していきます。

.....

第5章 施設類型ごとの基本方針

.....

①学校教育系施設

「板倉町立小学校適正規模・適正配置基本計画」に基づき、学校の統廃合や複合化を念頭に施設管理を行います。長期的な視点に立ち、定期的な点検と計画的な修繕により施設の長寿命化を図ります。廃止される施設については、除却や転用等の検討を行います。

.....

⑥行政施設

「板倉町役場庁舎基本計画」に基づき整備を行います。整備後は長期的な視点に立ち、定期的な点検と計画的な修繕により施設の長寿命化とライフサイクルコストの縮減を図ります。庁舎の利用状況と住民ニーズを勘案し、将来的な複合化も検討します。庁舎移転後の旧庁舎については速やかに除却します。

.....

(出典：「板倉町公共施設等総合管理計画（平成29年3月 企画財政課）」P32-35)

- ①定期的な点検・診断により施設の劣化状況を的確に把握し、計画的な修繕により施設の長寿命化を図り、維持・更新費用に係る財政負担の軽減と平準化を図ります。
- ②予防保全型の維持管理により事故や故障の予防措置を行い、施設の安全性を確保します。
- ③改修等にあたり、費用対効果を勘案し、施設の機能・性能の向上や利便性の向上を検討します。
- ④社会情勢の変化を勘案し、施設の集約や複合化等、施設の有効利用について検討します。

2. 施設の規模・配置計画等の方針

施設の重要性や必要性、利用状況、人口構成や住民ニーズの変化、費用対効果等を総合的に勘案し、施設の集約化・複合化・廃止・転用について、全庁的な検討を行い、施設保有量の適正化に努めます。

3. 目標使用年数、改修周期の設定

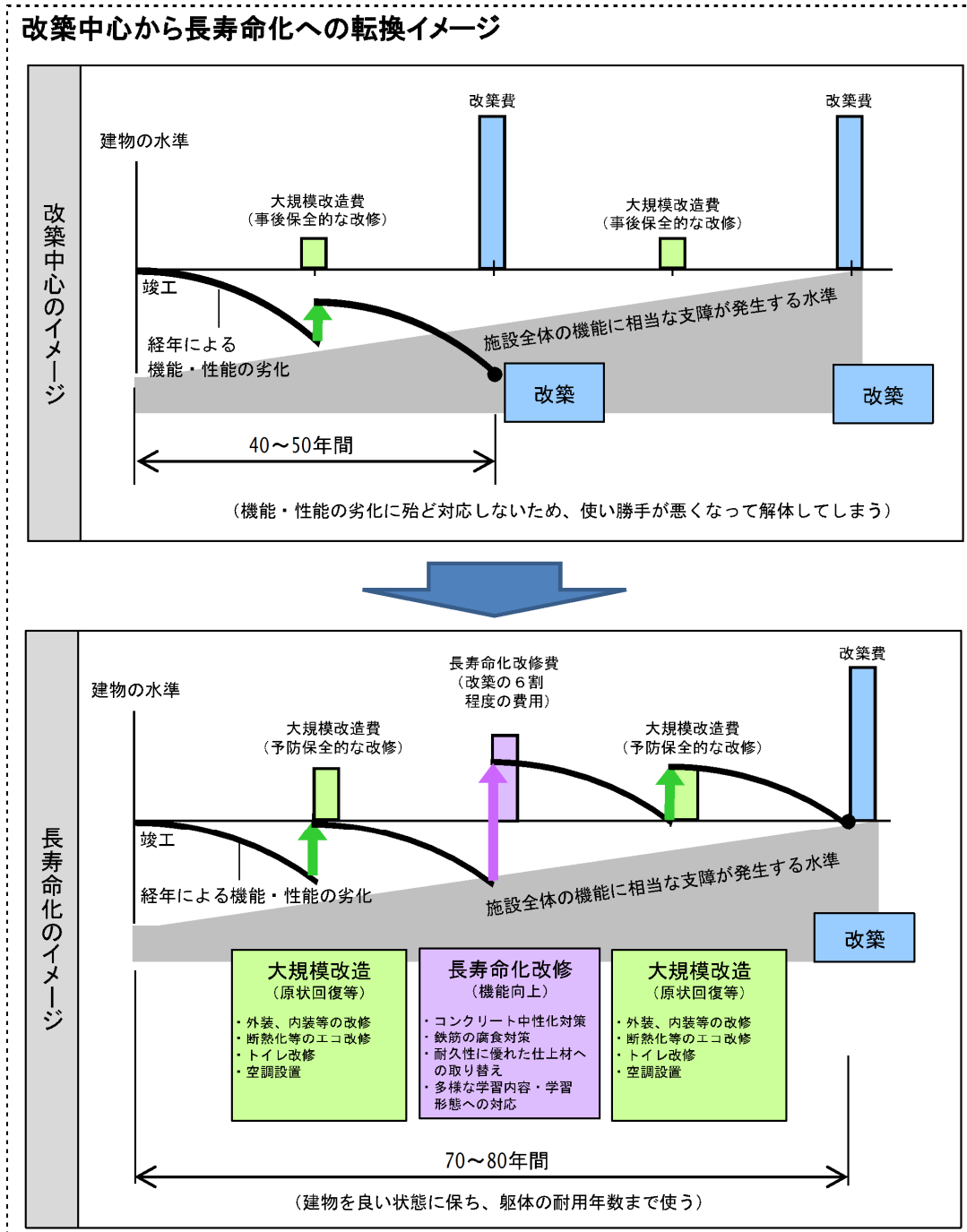
従来のように築50年未満で建替えるのではなく、施設の長寿命化を図り、今後の維持・更新費用に係る財政負担の軽減と平準化を図る観点から、施設の目標使用年数、改修周期については、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省）」や「建築物の耐久計画に関する考え方（一般社団法人日本建築学会）」を参考に、以下のとおり設定します。

目標使用年数	大規模改造の周期	長寿命化改修の周期
80年	築20年／築60年	築40年

表4-1 目標使用年数と改修周期

4. 長寿命化の方針

これまで、施設の安全上や機能上に不具合が生じてから修繕する「事後保全型」から、劣化や損傷が軽微な早期段階での修繕や、あるいは、部材や機器の耐用年数に応じた定期交換等の予防的な修繕を行う「予防保全型」の維持管理を行い、従来の改築中心の更新サイクルから長寿命化改修のサイクルへと転換を図ります。



(出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成 29 年 3 月 文部科学省）」P39)

第5章 施設整備の水準等

1. 改修等の整備水準

(1) 部位ごとの改修周期

「予防保全型」の維持管理により長寿命化を図るには、建物を構成する主な部位の健全性を確保する必要があります。「建築物のライフサイクルコスト（一般財団法人建築保全センター）」の標準耐用年数を参考に、目安として以下のとおり部位ごとの改修周期を示します。この改修周期と施設の劣化状況を勘案し、計画的な修繕を行います。

項目		標準耐用年数
建築	屋根・屋上	20～30年
	外壁	15～20年
	内装	20～30年
電気	受変電設備	25～30年
	電気設備一般	20～25年
	防災設備	20年
機械	空調・換気設備	15～30年
	給排水・衛生設備	10～30年
	消火設備	20～30年
	昇降機設備	30年

表5-1 部位ごとの標準耐用年数

(2) 改修等の整備水準

長寿命化改修では、単に物理的な不具合を直すのみではなく、建物の耐久性を向上させるとともに、建物の機能や性能の向上を目指すため、費用対効果を勘案しながら、適切な工法や部材、機器を検討します。

①耐久性の向上

屋根・屋上や外壁では、躯体や建物内部への漏水を発生させないよう防水性及び耐久性の高い材料等の使用を検討します。

②機能性の向上

社会情勢の変化に伴う多様性に対応するため、バリアフリーやユニバーサルデザインの導入やICT環境等の整備を検討します。

③性能の向上

環境に配慮した省エネ効果の高い設備や外壁等への断熱性、遮熱性の高い材料等の使用を検討します。

2. 維持管理の項目・手法等

「予防保全型」の維持管理では、不具合や劣化、損傷が顕著化する前の段階から予防的に対策を行い、施設の安全性を確保するとともに、長寿命化を図って行きます。それには、施設の劣化状況を的確に把握することが重要であることから、以下のサイクルにより点検を実施します。また、点検結果に合わせて、修繕履歴も記録として残し、これらをデータベース化して蓄積することで、将来の老朽化予測や改修等の検討に活用します。

点検種類	点検内容	点検頻度	点検者
日常点検	本計画に示す点検	1年に1回	施設管理者
定期点検	建築基準法第12条に基づく定期点検	各種周期	専門業者
	各種設備の法定点検	各種周期	専門業者
自主点検	各種設備の自主的な点検	各種周期	専門業者

表5-2 点検サイクル

<様式：修繕履歴>

修繕履歴							枚数	1/1	
通し番号	1	棟番号	-	図面番号(図面別)	100	施設名	〇〇施設	建物名	△△建物
構造種別	RC	延床面積	4,084㎡	階数	3	建築年度	令和〇年度(〇〇年度)		
番号	実施年月	件名		工事内容		金額(円)	受注者		
1	H30.10.30	〇〇施設空調改修工事		2F会議室、空調機(エアコン)3台交換		10,000,000	△△建設		

第6章 長寿命化の実施計画

1. 改修等の優先順位づけ

改修等の優先順位の考え方については、施設が「防災上の重要施設」として位置づけられている施設、構造躯体を含む建物全体の健全性に影響を及ぼす「築年数」が古い施設、点検・診断により算出した「劣化状況評価の健全度」が低く劣化が進んでいる施設、これら優先度が同程度の場合には、建物規模の「延床面積」が大きい施設、以上4つの要素について、重要度が高いものを優先し、合わせて、財政負担の平準化も含め総合的に勘案し、改修等の優先順位を検討します。

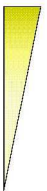
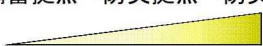




重要度	要素	優先度
 高い 低い	防災上の重要施設への位置づけ	なし→備蓄拠点→防災拠点→防災中枢拠点 
	築年数	新しい  古い
	劣化状況評価の健全度	高い  低い
	延床面積	小さい  大きい
改修等の優先度		低  高

表6-1 改修等の優先順位の考え方

2. 今後の維持・更新コスト（従来型と長寿命化型）

施設に係る今後の維持・更新コストの試算は、「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」に基づき行います。算出については、同解説書に附属のエクセルソフトを用いて、試算期間40年間についてコスト試算します。

また、建替えに係る改築単価は、「公共施設等更新費用試算ソフト（平成28年1月 一般財団法人地域総合整備財団（ふるさと財団）」で使用している単価を用いて、施設分類に応じた単価を使用します。長寿命化改修の単価は、改築単価の60%とし、大規模改造の単価は、改築単価の25%で設定します。

施設分類	改築単価
社会教育系施設 町民文化系施設 行政系施設	400,000 円/m ²
スポーツ・レクリエーション系施設 保健・福祉施設	360,000 円/m ²
学校教育系施設 子育て支援施設	330,000 円/m ²
公営住宅	280,000 円/m ²

表6-2 改築単価

《記入の仕方(コスト算出条件の入力)》

ステップ1においては、出力データ②《今後の維持・更新コスト（従来型）》を作成するため、更新周期、改築単価及び過去の施設関連経費を記入する。

ステップ3においては、出力データ④《今後の維持・更新コスト（長寿命化型）》を作成するため、改築、長寿命化改修、大規模改造の周期と単価、部位修繕の実施時期等を記入する。

出力データ④今後の維持・更新コスト（長寿命化型）は、[p.39](#)に示す長寿命化のイメージに基づくものであり、建物情報一覧表の試算上の区分（長寿命、改築）により更新周期を設定するとともに、躯体以外の劣化状況（A、B、C、D評価）を直近の修繕費に反映して算出する。

具体的には、[p.37](#)に示す周期や単価等の設定に基づいてエクセルソフトが自動で算出するため、これらのコスト算出条件を変更することにより様々な試算が可能であり、改修等の基本方針や整備水準を検討する際に活用できる。

【コスト算出の考え方の例（エクセルソフトの初期設定の考え方であり、各教育委員会で変更可能）】

- 築年数に応じた時期に、現状と同じ延床面積で改築・改修を行うものと設定
- 改築、長寿命化改修は2年に工事費を均等配分、大規模改造は単年度で計上
- 改築及び長寿命化改修の実施年数より古い建物は、今後10年以内にそれらを実施するものとし、該当コストの10分の1の金額を10年間計上
- 長寿命化改修の実施が可能かどうかを建物毎に判定し、改修周期を設定
 - ① 長寿命化可能な建物（試算上の区分が「長寿命」の建物）は、築40年に長寿命化改修、築20年、築60年に大規模改造、築80年に改築すると設定
 - ② 長寿命化可能な建物で、基準年時点で築40年を超えている建物は、今後10年以内に長寿命化改修を実施すると設定
 - ③ 長寿命化改修が実施できない建物（試算上の区分が「要調査」「改築」または未記入の建物）は、長寿命化改修を実施せずに改築（改築までは20年周期で大規模改造を実施）すると設定
- 今後5年以内にD評価の部位の修繕を、今後10年以内にC評価の部位の修繕を実施すると設定ただし、改築、長寿命化改修、大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く
- 今後10年間に長寿命化改修を実施する建物は、長寿命化改修費からA評価の部位修繕相当額を差し引く
- プール、グラウンド及び共用設備（受変電、自家発、受水、排水）等は、必要に応じて別途、費用を計上（「その他施設整備費」欄に記入された金額を基にグラフを作成する。）

なお、[p.38](#)に示す出力データ②《今後の維持・更新コスト（従来型）》は、築50年未満で建替えた場合のコストであり、出力データ④《今後の維持・更新コスト（長寿命化型）》は、長寿命化を図り、躯体以外の劣化状況を反映したコストを示している。また、出力データ②と出力データ④の差額を点線で示すことで、従来型から長寿命化型へ整備手法をシフトしたことによる削減効果を把握することができる。

（出典：「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（平成29年3月 文部科学省）」P36）

(1) 今後の維持・更新コスト（従来型）

従来どおり、築50年未満で建替える場合の維持・更新コスト（従来型）は、以下の条件により試算します。なお、その他施設関連費（その他施設整備費）、維持修繕費、光熱水費・委託費は、過去5年間の平均金額で試算します。

コスト試算条件（従来型）

基準年度 2020 年 試算期間: 基準年の翌年度から40年間	
改築 更新周期 50 年 改築単価 400,000 円/㎡	工事期間 2 年 実施年数より古い建物の改修: 10 年以内に実施
大規模改造 実施年数 20 年周期	工事期間 1 年

表 6 - 3 コスト試算条件（従来型）

今後の維持・更新コスト(従来型)

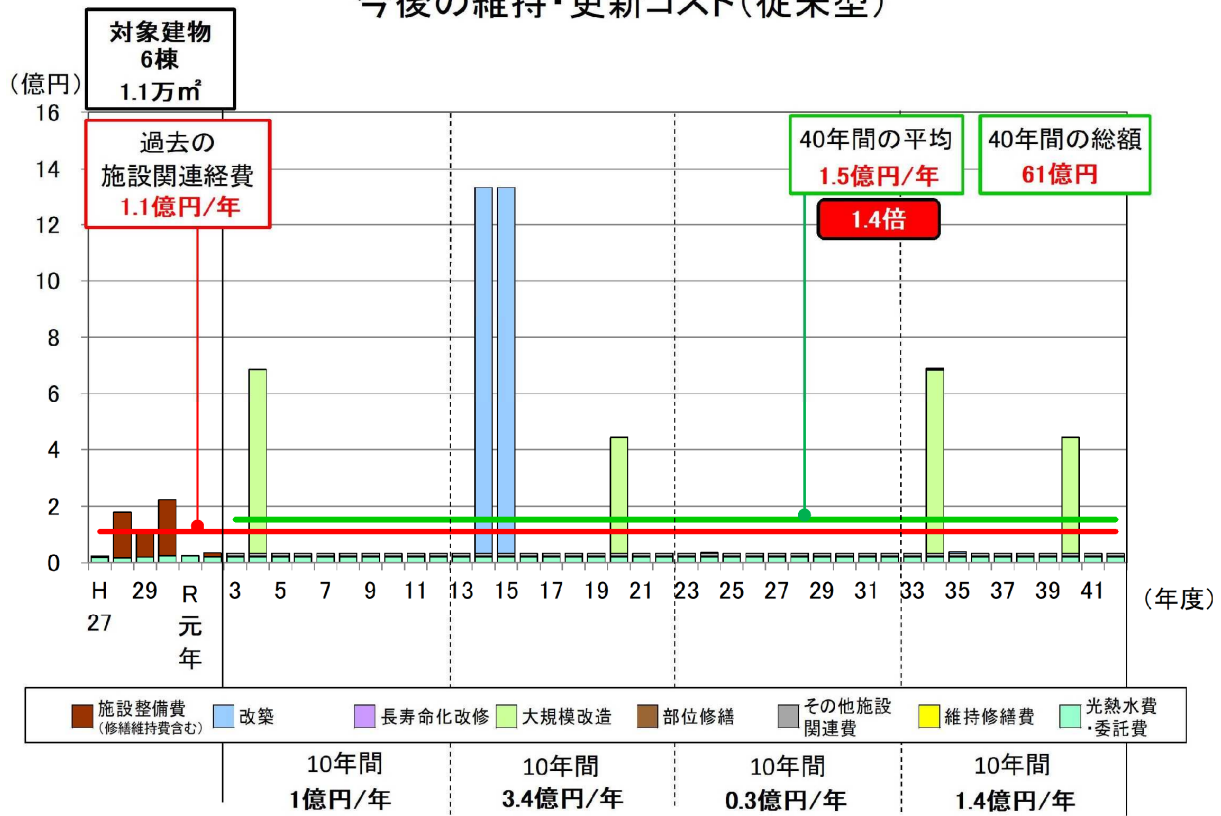


図6-1 今後の維持・更新コスト(従来型)

従来型によるコスト試算は、40年間の総額が約61億円、年間平均は約1.5億円となります。従来型で施設の維持管理を続けた場合、過去の施設関連経費の年間平均約1.1億円に対して、約1.4倍の費用が掛かります。

(2) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

長寿命化改修等により、築80年まで建物を使用する場合の維持・更新コスト（長寿命化型）は、以下の条件により試算します。なお、その他施設関連費（その他施設整備費）、維持修繕費、光熱水費・委託費は、過去5年間の平均金額で試算します。

コスト試算条件（長寿命化型）

基準年度 <input type="text" value="2020"/>		<グラフの年表示>	
試算期間: 基準年の翌年度から40年間		<input type="text" value="和暦"/>	
※1 試算上の区分(改築、長寿命)ごとに更新周期を設定する。			
改築	<改築、要調査>	<長寿命> ※1	工事期間 <input type="text" value="2"/> 年
更新周期 <input type="text" value="50"/> 年	<input type="text" value="80"/> 年	実施年数より古い建物の改築を	<input type="text" value="10"/> 年以内に実施
長寿命化改修			
改修周期	<長寿命>	工事期間 <input type="text" value="2"/> 年	実施年数より古い建物の改修を
<input type="text" value="40"/> 年	<input type="text" value="40"/> 年	<input type="text" value="10"/> 年以内に実施	
大規模改造			
改修周期 <input type="text" value="20"/> 年周期	(ただし、改築、長寿命化改修の前後10年間に重なる場合は実施しない)		
部位修繕		※2 躯体以外の劣化状況が未記入の場合は、部位修繕は算出され	
D評価:	今後 <input type="text" value="5"/> 年以内に部位修繕を実施		
C評価:	今後 <input type="text" value="10"/> 年以内に部位修繕を実施		
(ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く)			
A評価:	今後 <input type="text" value="10"/> 年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く		

表6-4 コスト試算条件（長寿命化型）

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)

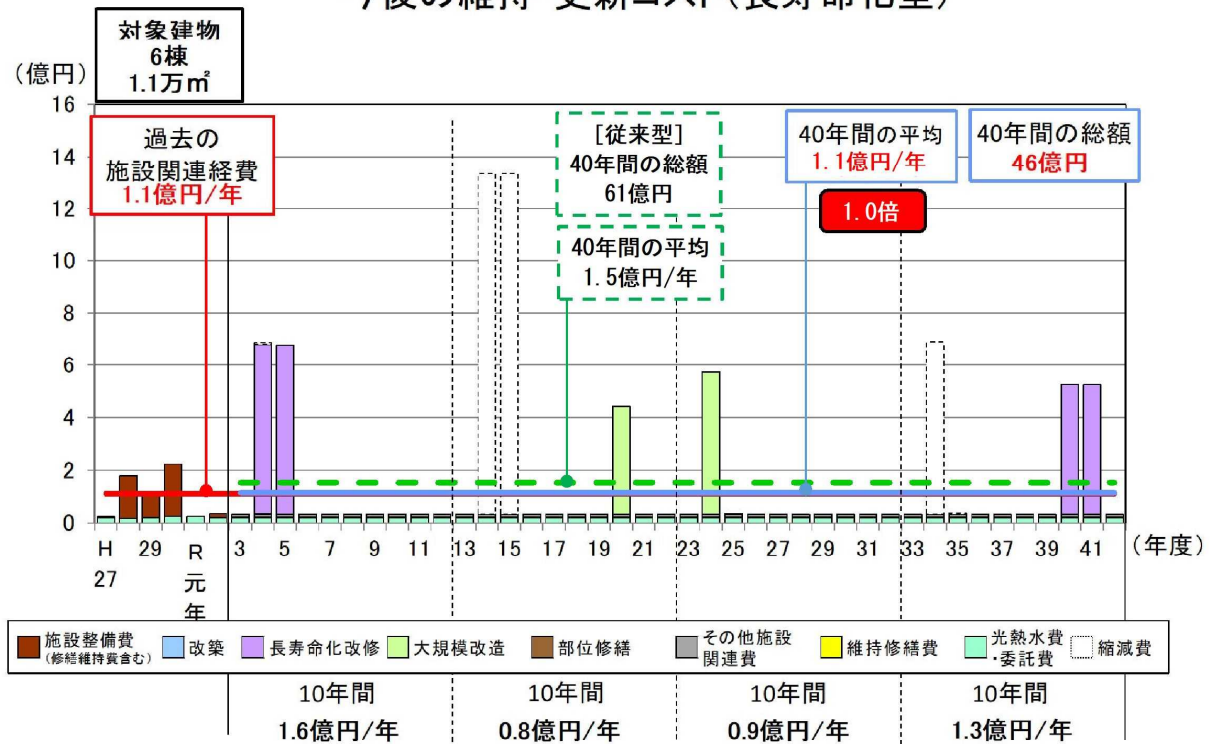


図6-2 今後の維持・更新コスト(長寿命化型)

長寿命化型によるコスト試算は、40年間の総額が約46億円、年間平均は約1.1億円となります。長寿命化型で施設の維持管理を行った場合、過去の施設関連経費の年間平均約1.1億円と同程度となります。

3. 長寿命化の効果

従来の建替え中心で維持管理を行った場合、今後40年間では、総額約61億円（年間平均約1.5億円）の費用に対し、長寿命化を行った場合では、総額約46億円（年間平均約1.1億円）の費用となります。

長寿命化による効果として、総額で約15億円（年間平均約0.4億円）、約25%の財政負担の軽減と改築による突出した費用を長寿命化改修等により分散することで、財政負担を平準化することが期待されます。

また、過去の施設関連経費の年間平均約1.1億円を当該施設に掛けられる投資的経費の財政制約ラインと考えた場合、長寿命化型に転換することで、これまでと同程度の財政負担で施設の維持管理が可能であると推測できます。

ただし、旧北小学校及び旧南小学校の利活用が決まった場合には、ある程度の改修費用が見込まれるため、財源確保を検討しておく必要があります。

4. 実施計画

今後10年間の実施計画を示します。施設の劣化状況や社会情勢の変化等により、計画は随時見直しを行います。

(単位：百万円)

施設名	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費
板倉町役場										
旧北小学校 (校舎)	PAS更新工事	1.1								
旧南小学校 (校舎)	PAS-高圧ケーブル更新工事	1.3								
合計		2.4								

施設名	令和8年度		令和9年度		令和10年度		令和11年度		令和12年度	
	事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費	事業名	事業費
板倉町役場										
旧北小学校 (校舎)										
旧南小学校 (校舎)										
合計										

※現時点で事業費が不明な場合は見込額を記入（見込額が不明な場合は事業名のみ記入）

表6-5 今後10年間の実施計画

旧北小学校及び旧南小学校は、現在使用していませんが、劣化の進行状況により、必要な修繕を行います。

第7章 長寿命化計画の継続的運用方針

1. 情報基盤の整備と活用

今後は、施設の点検結果や修繕履歴をデータベース化して蓄積し、将来の老朽化予測や改修等の検討に活用することで、効率的かつ効果的な維持管理を推進していきます。

2. 推進体制等の整備

財政担当課やその他の施設管理課局と横断的に連携・情報共有を図り、全庁的な体制で本計画の継続的な運用を推進していきます。

3. フォローアップ

本計画の推進にあたり、PDCAサイクルにより、原則として10年ごとに計画の見直しを行います。施設の劣化状況や社会情勢の変化等があった場合は、随時見直しを行い、着実な計画の推進を図ります。

用語の解説

用語	解説
長寿命化	建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。
改築	老朽化により構造上危険な状態にあつたりする既存の建物を「建替える」こと。
更新	既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は、「改築」と同義。
改修	経年劣化した建物の部分又は全体を改善するため、建物の機能や性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
修繕	経年劣化した建物の部分を既存のものと概ね同じ材料、形状、寸法のものを用いて原状回復を図ること。「補修」と同義。
長寿命化改修	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。
大規模改造	経年劣化した建物の大部分を修繕し、原状回復を図ること。
部位修繕	「修繕」と同義。
施設関連経費	「施設整備費」「その他施設整備費」「維持修繕費」「光熱水費・委託費」を総計した費用のこと。
施設整備費	建物や設備の整備に係る費用のこと。
その他施設整備費	建物や設備以外（外構等）の整備に係る費用のこと。
維持修繕費	建物や設備、建物以外の修繕に係る費用のこと。
光熱水費・委託費	電気、ガス等（熱供給の燃料）、水道、下水道の使用料のこと。施設に係る保守管理、点検に係る費用のこと。
事後保全	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う事後的な保全のこと。
予防保全	損傷が軽微である早期段階から、機能や性能の保持・回復を図るために修繕等を行う予防的な保全のこと。
耐用年数	減価償却費を算出するために、財務省令「減価償却資産の耐用年数に関する省令」で定める年数のこと。
目標使用年数	建物を新築してから改築を行うまでの、目標とする使用期間のこと。
耐震基準（旧・新）	建築基準法により定められた耐震性能の基準を指し、昭和 56 年 6 月 1 日（1981 年）に改正建築基準法が施行され、改正以前を「旧耐震基準」、改正以降を「新耐震基準」と大別している。
P D C A サイクル	「Plan：計画」「Do：実行」「Check：評価」「Action：改善」の 4 つの英単語の頭文字で、4 つの段階を循環的に繰り返し行うことで、業務を改善・効率化するための方法のこと。

板倉町行政系施設等長寿命化計画
(個別施設計画)
[資料編]

目 次

- 劣化状況調査票（調査票・図面・写真）
 - ・板倉町役場
 - ・旧北小学校（校舎）
 - ・旧南小学校（校舎）

劣化状況調査票

通し番号	1				
施設名	板倉町役場	固定資産台帳番号	TA0000016	調査日	令和2年1月30日
建物名	庁舎			記入者	桜井 洋介
棟番号	-		建築年度	平成30 年度 (2018 年度)	
構造種別	RC	延床面積	4,084 m ²	階数	地上 3 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある				A
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある				
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある				
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない				
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある				A
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ				
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている				
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある				
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽				
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			A
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 建物内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			A
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			A
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば該当部位と指摘内容を記載。外構部に劣化あれば状況を記載。)

・コンクリート庇の端部の表面ひび割れから石灰分が染み出ている箇所あり (1~3F、点在)。経過観察としたい。


健全度

100

100点

劣化状況調査票（写真）

通し番号	1	棟番号	-	固定資産台帳番号	TA0000016	調査日	令和2年1月30日	枚数	1/1
施設名	板倉町役場				建物名	庁舎			
記入者	桜井 洋介								

	写真番号	1
	部位	コンクリート庇の端部（1~3F、点在）
	評価	A
	劣化状況	（劣化状況等を記入） 表面ひび割れから石灰分が染み出ている。 経過観察としたい。

写 真	写真番号	
	部位	
	評価	
	劣化状況	（劣化状況等を記入）

写 真	写真番号	
	部位	
	評価	
	劣化状況	（劣化状況等を記入）

劣化状況調査票

通し番号	2		施設名	旧北小学校	固定資産台帳番号	2007	調査日	令和2年3月25日	
建物名	校舎					記入者	高橋 貴大		
棟番号	022-1			建築年度	昭和57年度（1982年度）				
構造種別	RC	延床面積	3,410 m ²		階数	地上 3 階 地下 階			

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水	H20	防水改修	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある				B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input checked="" type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある				
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない				
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある		屋上時計台亀裂1箇所 階段躍場ガラスブロックの漏水、錆	C	
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ				
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている				
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input checked="" type="checkbox"/> 大きな亀裂がある	1			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input checked="" type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある	1			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input checked="" type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある	1			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽				
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 建物内LAN			
	<input checked="" type="checkbox"/> 空調設置	H22	エアコン設置工事	
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事				
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事		図工室 床埋込コンセント取付部破損	
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input checked="" type="checkbox"/> 消防設備の点検	定期点検		
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば該当部位と指摘内容を記載。外構部に劣化あれば状況を記載。)

特になし

健全度
65 / 100点

劣化状況調査票

通し番号	3				
施設名	旧北小学校	固定資産台帳番号	2012	調査日	令和2年3月25日
建物名	給食室1	記入者	高橋 貴大		
棟番号	022-2	建築年度	昭和57年度（1982年度）		
構造種別	RC	延床面積	100㎡	階数	地上 1階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある				B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある				
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない				
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある				B
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ				
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている				
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある				
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽				
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 建物内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他、内部改修工事	H14	給食室増築工事	
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input checked="" type="checkbox"/> 消防設備の点検	定期点検		
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば該当部位と指摘内容を記載。外構部に劣化あれば状況を記載。)

特になし

健全度
75
/ 100点

劣化状況調査票

通し番号	4				
施設名	旧北小学校	固定資産台帳番号	2013	調査日	令和2年3月25日
建物名	給食室2	記入者	高橋 貴大		
棟番号	022-3	建築年度	平成14	年度 (2002 年度)	
構造種別	S	延床面積	22 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

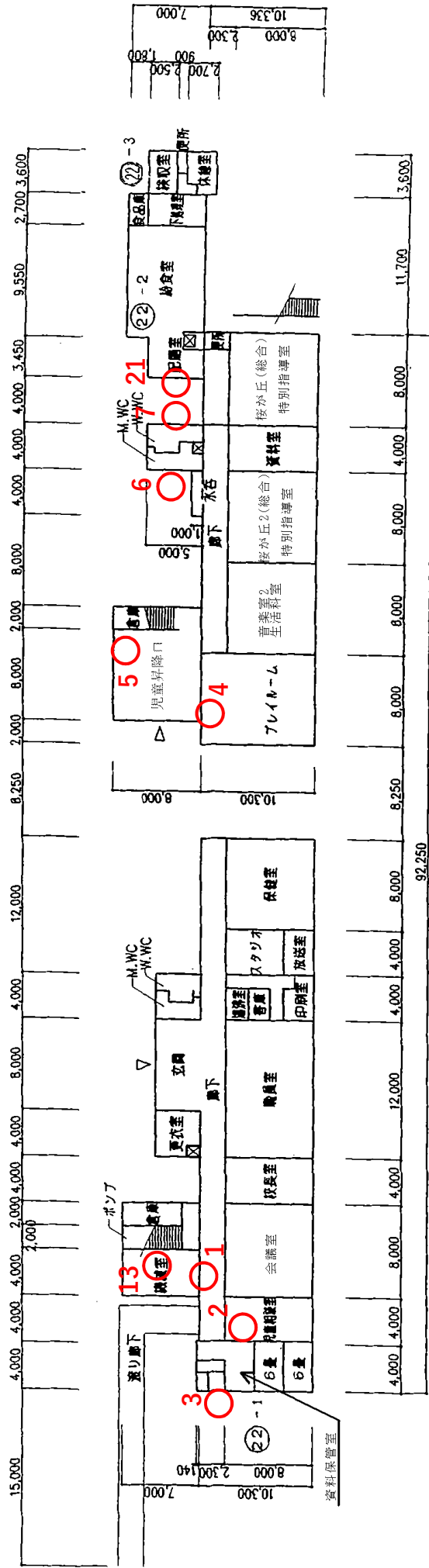
部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある				B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある				
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある				
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない				
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある				B
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ				
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている				
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある				
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある				
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽				
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			A
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 建物内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			A
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			A
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

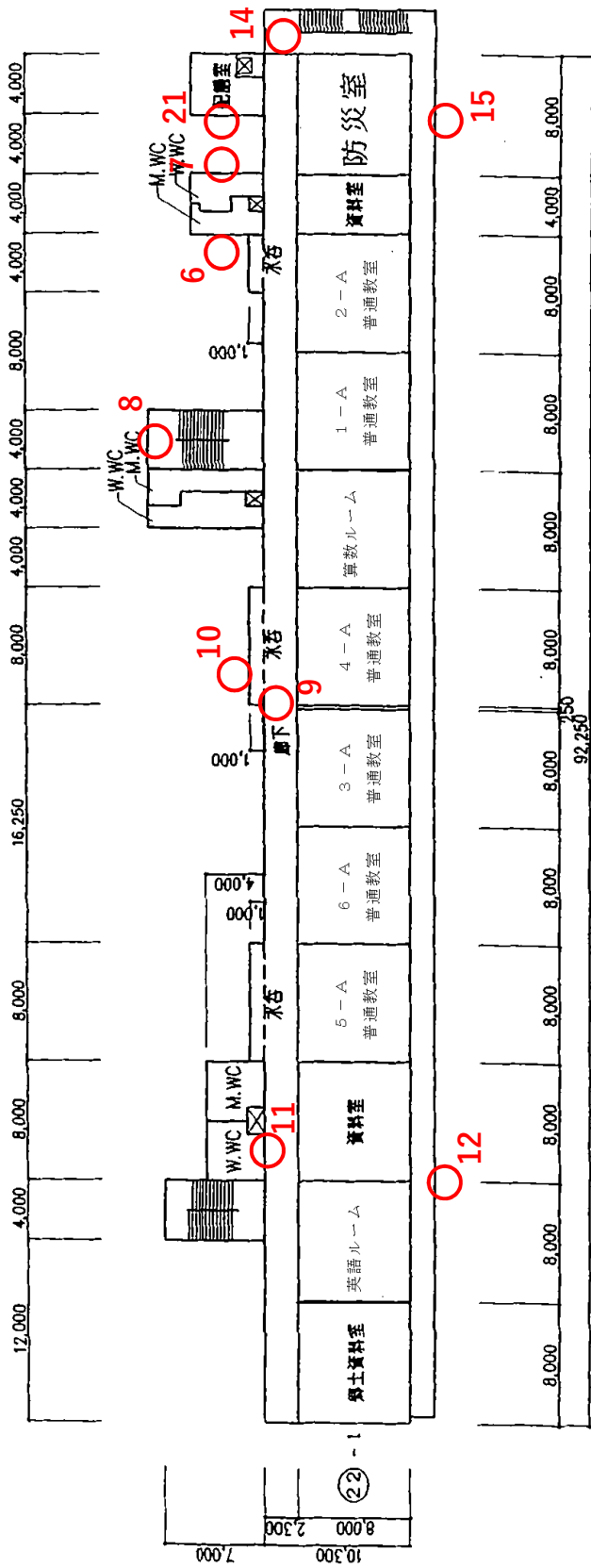
特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば該当部位と指摘内容を記載。外構部に劣化あれば状況を記載。)

特になし

健全度
91 / 100点



通し番号	2~4	棟番号	022-1 他	2007 他	令和2年3月25日	劣化状況調査票 (図面)
施設名	旧北小学校	建物名	校舎、給食室1、給食室2		記入者	高橋 貴大
備考					縮尺	Free
					枚数	1/4

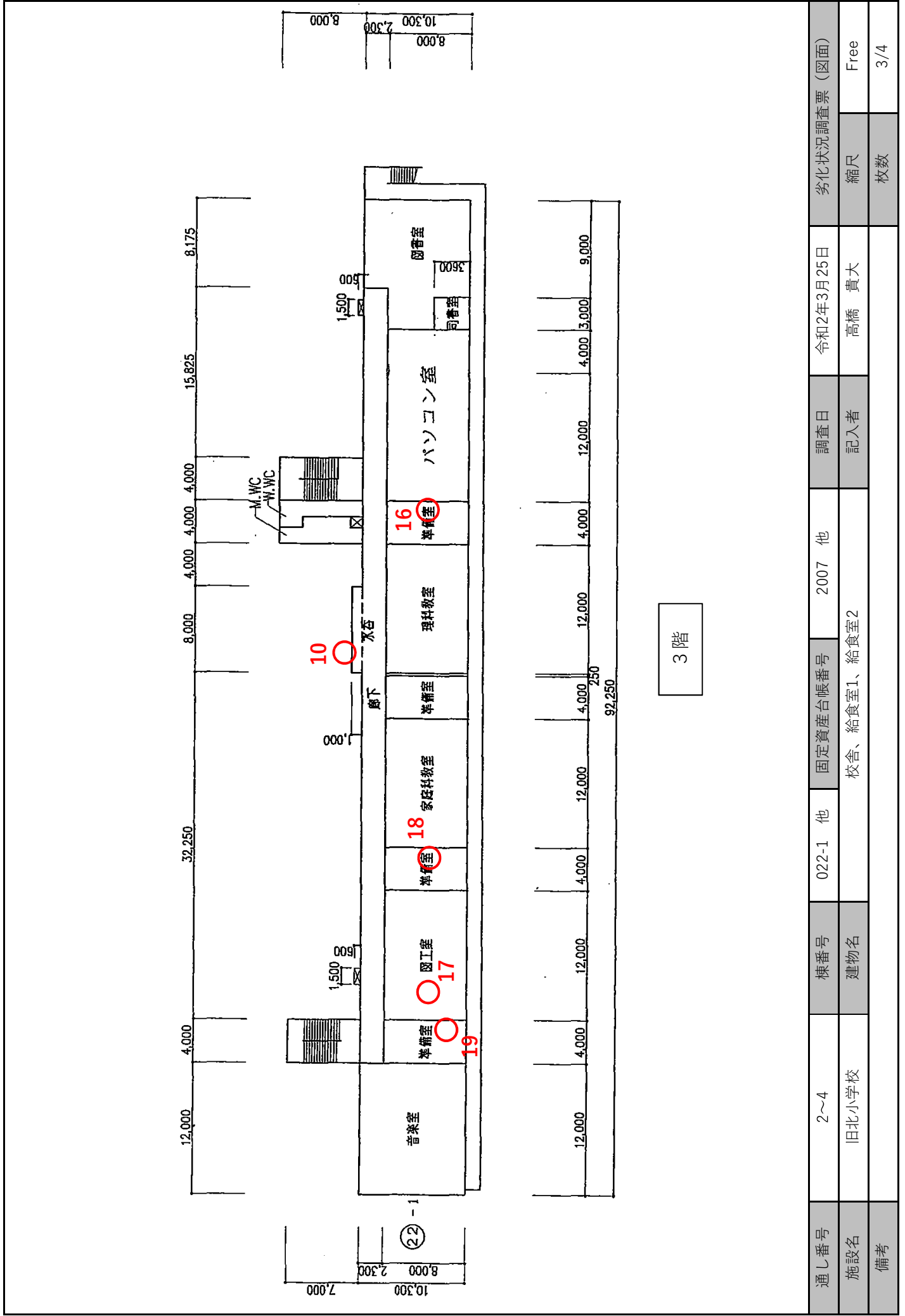


2階

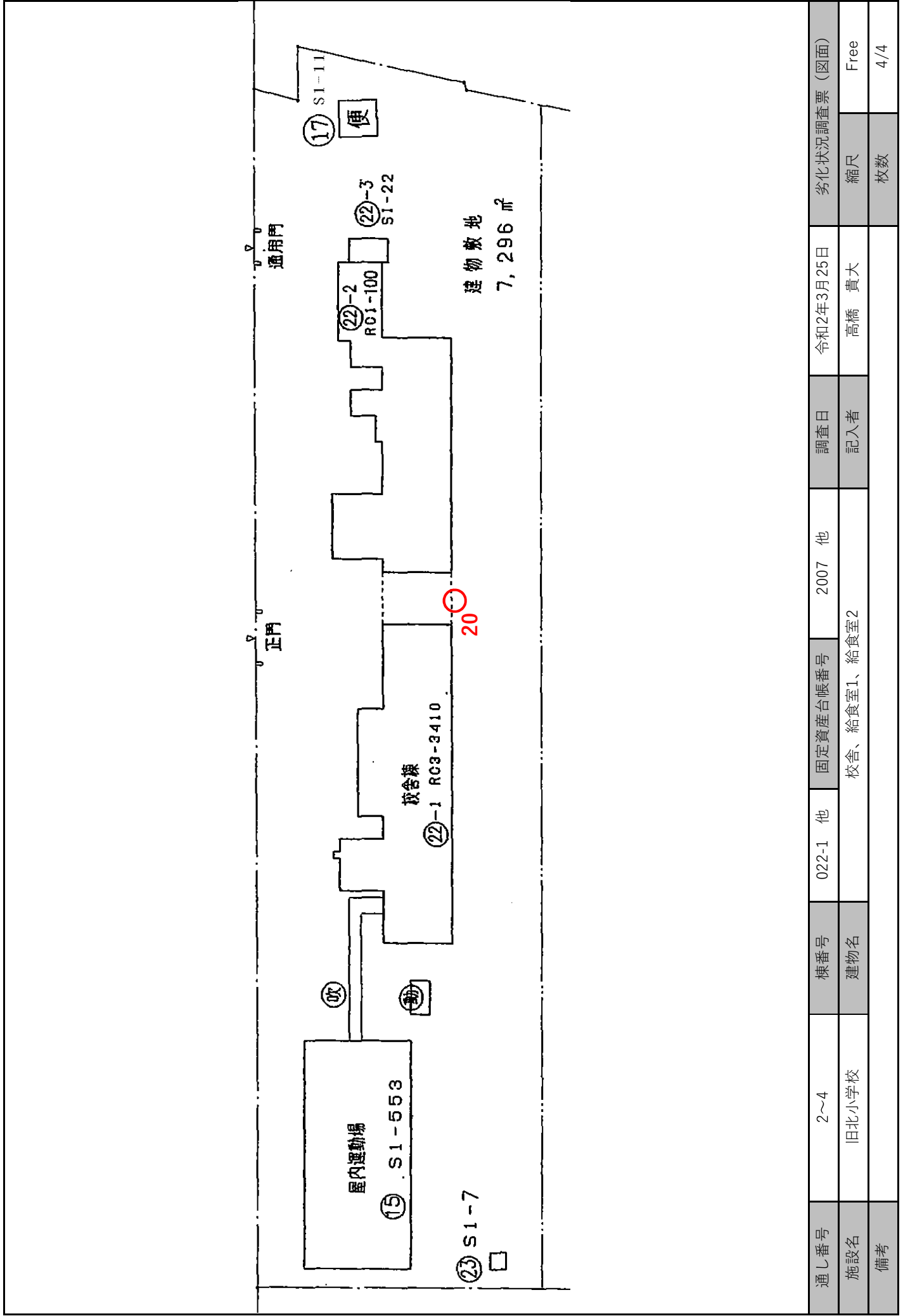
10,300	8,000	2,300
5,000	10,300	3,000

7,000	8,000	2,300
10,300	8,000	2,300

通し番号	2~4	棟番号	022-1 他	固定資産台帳番号	2007 他	調査日	令和2年3月25日	劣化状況調査票 (図面)	
施設名	旧北小学校	建物名	校舎、給食室1、給食室2		記入者	高橋 貴大	縮尺	Free	
備考								枚数	2/4



通し番号	2~4	棟番号	022-1 他	固定資産台帳番号	2007 他	調査日	令和2年3月25日	劣化状況調査票 (図面)	
施設名	旧北小学校	建物名	校舎、給食室1、給食室2			記入者	高橋 貴大	縮尺	Free
備考								枚数	3/4



通し番号	2~4	棟番号	022-1 他	固定資産台帳番号	2007 他	調査日	令和2年3月25日	劣化状況調査票 (図面)		
施設名	旧北小学校	建物名	校舎、給食室1、給食室2			記入者	高橋 貴大	縮尺	Free	
備考									枚数	4/4

劣化状況調査票（写真）

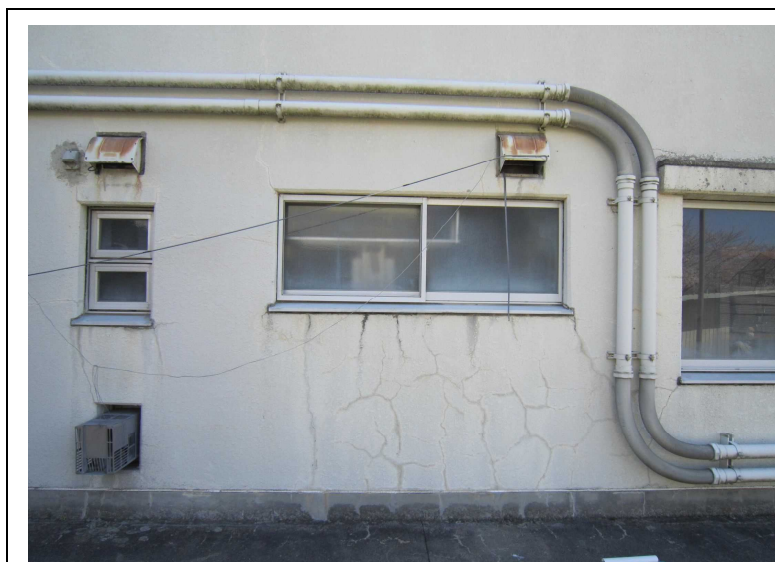
通し番号	2	棟番号	022-1	固定資産台帳番号	2007	調査日	令和2年3月25日	枚数	1/8
施設名	旧北小学校					建物名	校舎		
記入者	高橋 貴大								



写真番号	1
部位	壁
評価	B
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック 3箇所。



写真番号	2
部位	壁
評価	B
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック 1箇所。



写真番号	3
部位	壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック複数箇所。

劣化状況調査票（写真）

通し番号	2	棟番号	022-1	固定資産台帳番号	2007	調査日	令和2年3月25日	枚数	2/8
施設名	旧北小学校					建物名	校舎		
記入者	高橋 貴大								



写真番号	4
部位	壁
評価	B
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック1箇所。




写真番号	5
部位	天井
評価	B
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・雨漏れ跡。




写真番号	6
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・1階部分クラック1箇所。 ・2階部分クラック1箇所。

劣化状況調査票（写真）

通し番号	2	棟番号	022-1	固定資産台帳番号	2007	調査日	令和2年3月25日	枚数	3/8
施設名	旧北小学校					建物名	校舎		
記入者	高橋 貴大								

	写真番号	7
	部位	外壁
	評価	C
	劣化状況	(劣化状況等を記入)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1階部分クラック 1箇所。 ・ 2階部分クラック 1箇所。

	写真番号	8
	部位	ガラスブロック
	評価	B
	劣化状況	(劣化状況等を記入)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ ガラスブロック漏水跡、錆び。

	写真番号	9
	部位	EXP.J
	評価	B
	劣化状況	(劣化状況等を記入)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ EXPJ浮き上がり。

劣化状況調査票（写真）

通し番号	2	棟番号	022-1	固定資産台帳番号	2007	調査日	令和2年3月25日	枚数	4/8
施設名	旧北小学校					建物名	校舎	記入者	高橋 貴大



写真番号	10
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・コンクリート浮き2箇所。



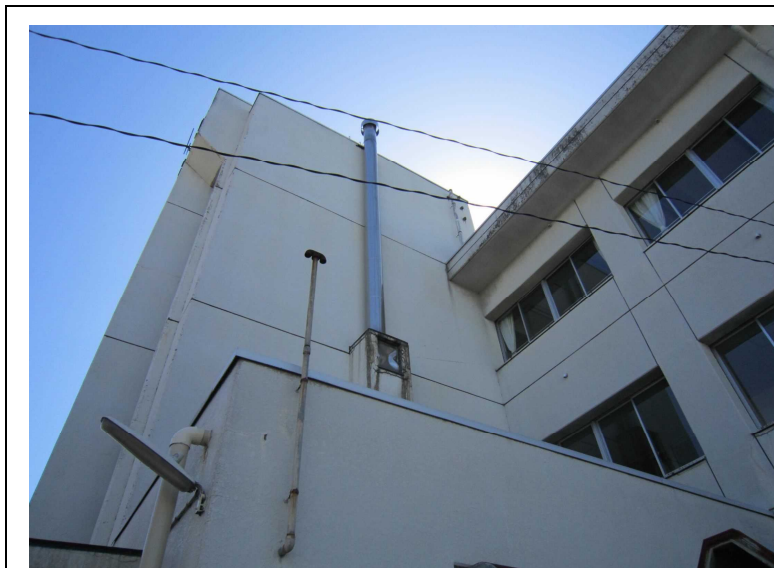
写真番号	11
部位	壁
評価	B
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック複数箇所。



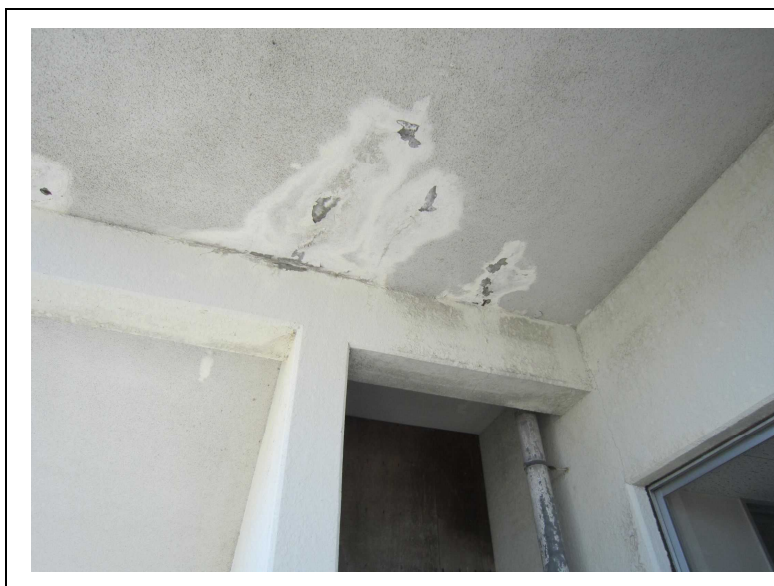
写真番号	12
部位	壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック、エフロレッセンス。

劣化状況調査票（写真）

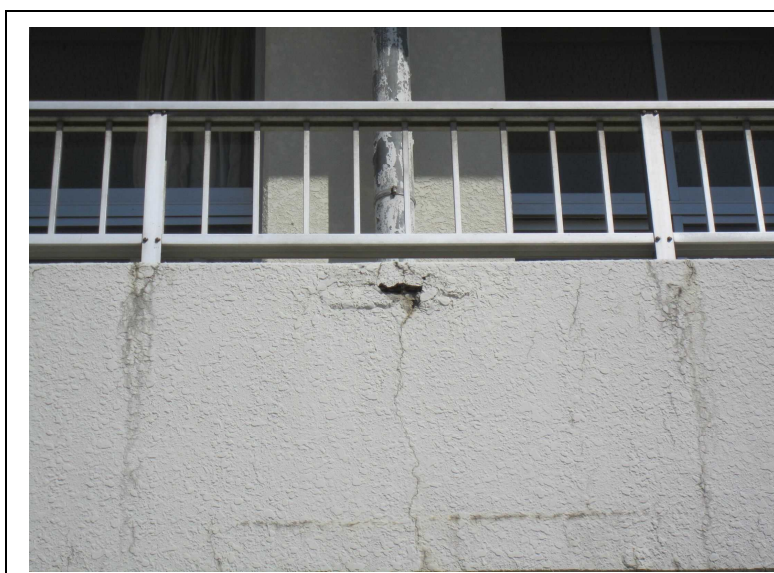
通し番号	2	棟番号	022-1	固定資産台帳番号	2007	調査日	令和2年3月25日	枚数	5/8
施設名	旧北小学校					建物名	校舎	記入者	高橋 貴大



写真番号	13
部位	煙突
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) <ul style="list-style-type: none"> ・煙突取り合いクラック。 ・縦樋腐食。



写真番号	14
部位	軒天
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) <ul style="list-style-type: none"> ・爆裂、クラック、エフロレッセンス。



写真番号	15
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) <ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート剥落。

劣化状況調査票（写真）

通し番号	2	棟番号	022-1	固定資産台帳番号	2007	調査日	令和2年3月25日	枚数	6/8
施設名	旧北小学校					建物名	校舎	記入者	高橋 貴大

	写真番号	16
	部位	壁
	評価	B
	劣化状況	（劣化状況等を記入） ・クラック 2箇所。

	写真番号	17
	部位	床
	評価	B
	劣化状況	（劣化状況等を記入） ・埋込コンセント破損。

	写真番号	18
	部位	壁
	評価	B
	劣化状況	（劣化状況等を記入） ・クラック 1箇所。

劣化状況調査票（写真）

通し番号	2	棟番号	022-1	固定資産台帳番号	2007	調査日	令和2年3月25日	枚数	7/8
施設名	旧北小学校					建物名	校舎		
								記入者	高橋 貴大



写真番号	19
部位	壁
評価	B
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック 1箇所



写真番号	20
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・爆裂。



写真番号	
部位	
評価	
劣化状況	(劣化状況等を記入)

劣化状況調査票（写真）

通し番号	3	棟番号	022-2	固定資産台帳番号	2012	調査日	令和2年3月25日	枚数	8/8
施設名	旧北小学校					建物名	給食室1		
記入者	高橋 貴大								

	写真番号	21
	部位	外壁
	評価	B
	劣化状況	(劣化状況等を記入)
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1階部分クラック 1箇所。 ・ 2階部分クラック 1箇所。

<p>写 真</p>	写真番号	
	部位	
	評価	
	劣化状況	(劣化状況等を記入)

<p>写 真</p>	写真番号	
	部位	
	評価	
	劣化状況	(劣化状況等を記入)

劣化状況調査票

通し番号	5				
施設名	旧南小学校	固定資産台帳番号	2032	調査日	令和2年3月25日
建物名	校舎			記入者	高橋 貴大
棟番号	016-1	建築年度	昭和57年度（1982年度）		
構造種別	RC	延床面積	2,876 m ²	階数	地上 3 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		特記事項	評価
		年度	工事内容		箇所数		
1 屋根 屋上	<input checked="" type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある		シート防水切れ1箇所 アスファルト保護防水目地浮き	B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない			
	<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	2	外壁浮き2箇所 外壁爆裂1箇所	C
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ	2		
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
	<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 建物内LAN			
	<input checked="" type="checkbox"/> 空調設置	H22	エアコン設置工事	
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input checked="" type="checkbox"/> 消防設備の点検	定期点検		
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば該当部位と指摘内容を記載。外構部に劣化あれば状況を記載。)

特になし

健全度
65 / 100点

劣化状況調査票

通し番号	6				
施設名	旧南小学校	固定資産台帳番号	2038	調査日	令和2年3月25日
建物名	給食室			記入者	高橋 貴大
棟番号	016-2	建築年度	昭和57年度（1982年度）		
構造種別	RC	延床面積	116 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

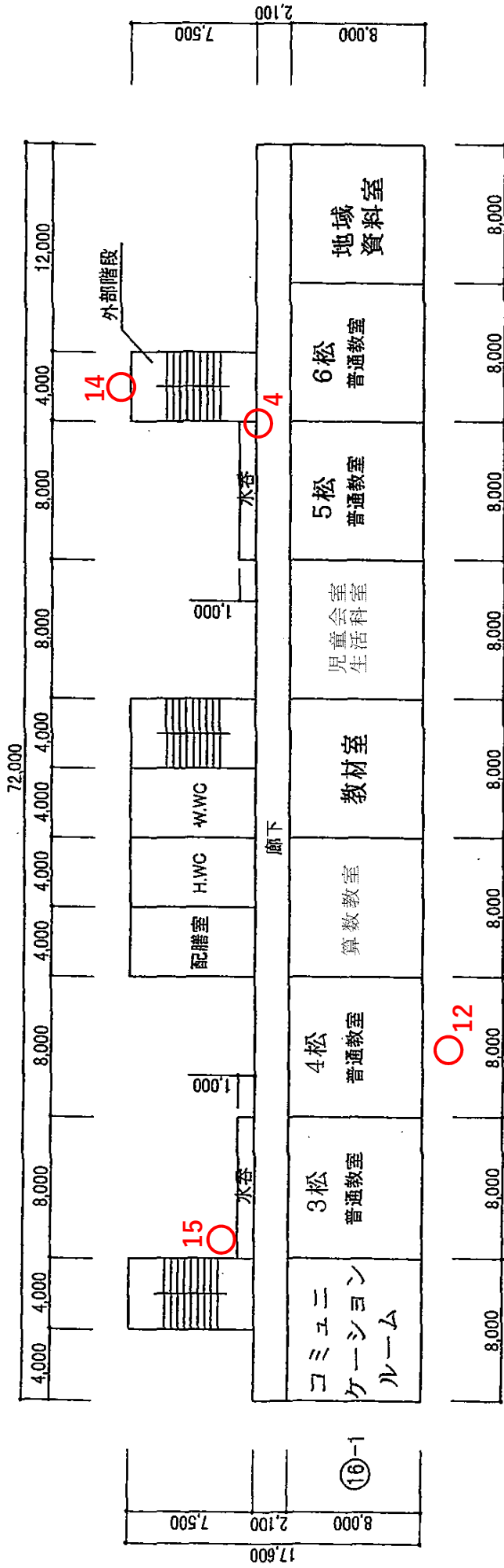
部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)		箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容					
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある				B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある				
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある				
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない				
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある				B
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ				
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル (ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている				
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ()			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある				
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある				
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある				
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽				
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				
	<input type="checkbox"/>							

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 建物内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input checked="" type="checkbox"/> 消防設備の点検	定期点検		
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば該当部位と指摘内容を記載。外構部に劣化あれば状況を記載。)

特になし

健全度
75 / 100点



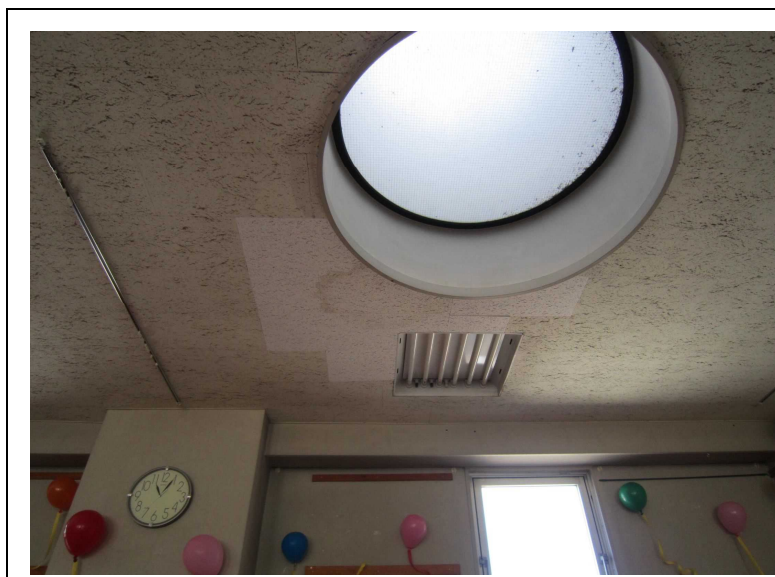
通し番号	5	棟番号	016-1	固定資産台帳番号	2032	調査日	令和2年3月25日	劣化状況調査票 (図面)	
施設名	旧南小学校	建物名	校舎			記入者	高橋 貴大	縮尺	Free
備考								枚数	2/4

劣化状況調査票（写真）

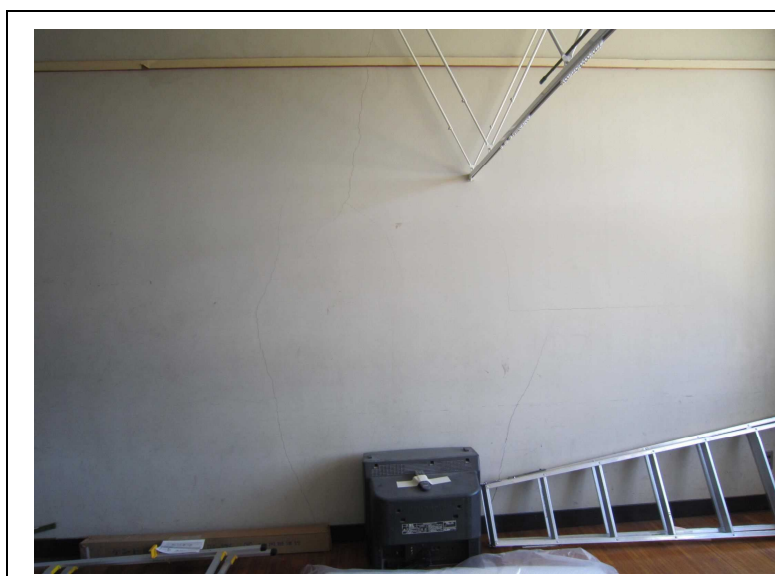
通し番号	5	棟番号	016-1	固定資産台帳番号	2032	調査日	令和2年3月25日	枚数	1/7
施設名	旧南小学校					建物名	校舎		
								記入者	高橋 貴大



写真番号	1
部位	壁
評価	B
劣化状況	（劣化状況等を記入） ・クラック複数箇所。



写真番号	2
部位	天井
評価	B
劣化状況	（劣化状況等を記入） ・雨漏れ跡。



写真番号	3
部位	壁
評価	B
劣化状況	（劣化状況等を記入） ・クラック2箇所。

劣化状況調査票（写真）

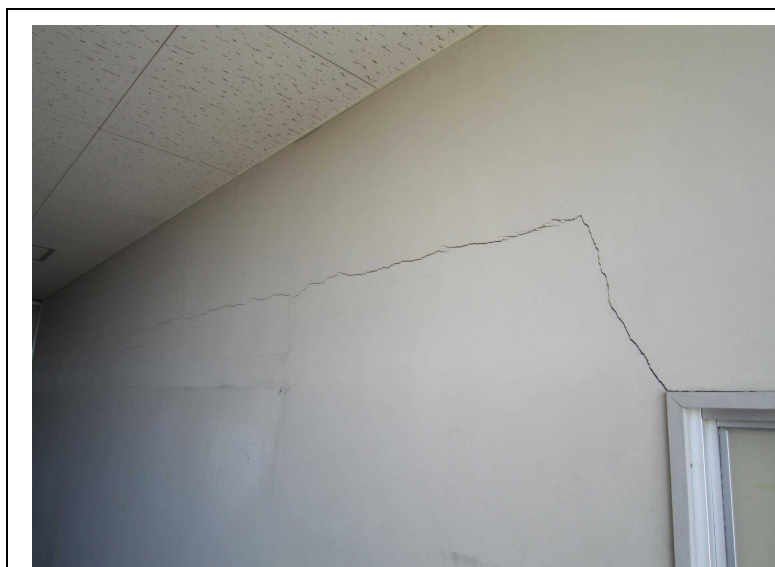
通し番号	5	棟番号	016-1	固定資産台帳番号	2032	調査日	令和2年3月25日	枚数	2/7
施設名	旧南小学校					建物名	校舎	記入者	高橋 貴大



写真番号	4
部位	壁
評価	B
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック1箇所。



写真番号	5
部位	壁
評価	B
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック1箇所。




写真番号	6
部位	壁
評価	B
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・クラック1箇所。

劣化状況調査票（写真）

通し番号	5	棟番号	016-1	固定資産台帳番号	2032	調査日	令和2年3月25日	枚数	3/7
施設名	旧南小学校					建物名	校舎		
記入者	高橋 貴大								


	写真番号	7
	部位	壁
	評価	B
	劣化状況	（劣化状況等を記入） ・クラック 1箇所。


	写真番号	8
	部位	壁
	評価	B
	劣化状況	（劣化状況等を記入） ・クラック 2箇所。

	写真番号	9
	部位	屋上アスファルト保護防水目地
	評価	B
	劣化状況	（劣化状況等を記入） ・目地浮き全体。

劣化状況調査票（写真）

通し番号	5	棟番号	016-1	固定資産台帳番号	2032	調査日	令和2年3月25日	枚数	4/7
施設名	旧南小学校					建物名	校舎		
記入者	高橋 貴大								

	写真番号	10
	部位	外壁
	評価	C
	劣化状況	(劣化状況等を記入) ・爆裂1箇所。

	写真番号	11
	部位	屋上防水シート
	評価	B
	劣化状況	(劣化状況等を記入) ・防水シート切れ。

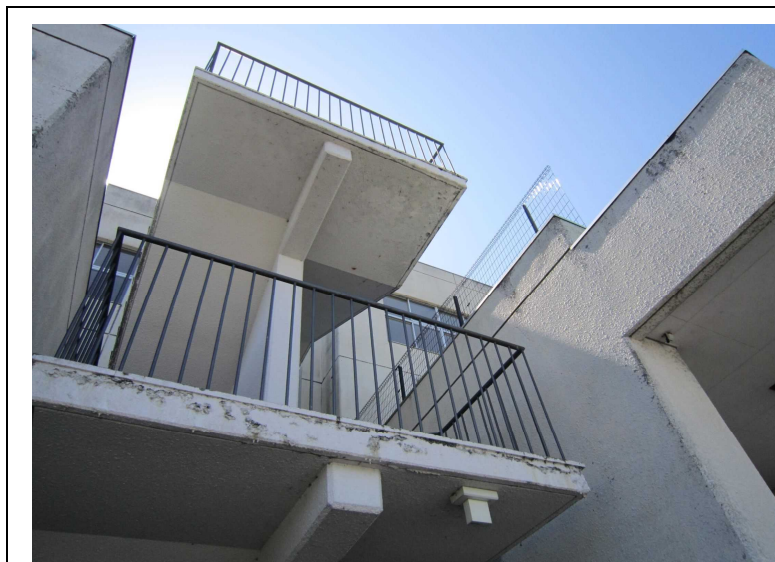
	写真番号	12
	部位	軒天
	評価	C
	劣化状況	(劣化状況等を記入) ・軒天裏クラック複数箇所。

劣化状況調査票（写真）

通し番号	5	棟番号	016-1	固定資産台帳番号	2032	調査日	令和2年3月25日	枚数	5/7
施設名	旧南小学校					建物名	校舎		
記入者	高橋 貴大								



写真番号	13
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・軒天間詰め抜け落ち。



写真番号	14
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・塗装はがれ複数箇所。



写真番号	15
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・外壁浮き。

劣化状況調査票（写真）

枚数	6/7
記入者	高橋 貴大

通し番号	5	棟番号	016-1	固定資産台帳番号	2032
施設名	旧南小学校			建物名	校舎

調査日	令和2年3月25日
-----	-----------



写真番号	16
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・外壁鉄筋露出。



写真番号	
部位	
評価	
劣化状況	(劣化状況等を記入)



写真番号	
部位	
評価	
劣化状況	(劣化状況等を記入)

劣化状況調査票（写真）

通し番号	6	棟番号	016-2	固定資産台帳番号	2038	調査日	令和2年3月25日	枚数	7/7
施設名	旧南小学校					建物名	給食室		
記入者	高橋 貴大								



写真番号	17
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・外壁浮き。



写真番号	18
部位	外壁
評価	C
劣化状況	(劣化状況等を記入) ・外壁鉄筋露出。



写真番号	
部位	
評価	
劣化状況	(劣化状況等を記入)